

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

＜第35週＞ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第32週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い／その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-9

＜インフルエンザ＞

定点当たり報告数は第28週以降増加が続いており、第35週は2.52となった



病原体情報
P.10-14

インフルエンザウイルス 2009年5～8月／ヒトから検出されている
Vero毒素産生性大腸菌 2009年



速報
P.15-23

腸管出血性大腸菌感染症 2008年



海外感染症情報
P.24

パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009－検査診断例の公式報告数



感染症の話
P.25

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(35週)
P.26-31



35週のデータ
P.32-44



発生動向総覧

<第35週コメント> 9月2日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核243例

3類感染症

細菌性赤痢1例

感染地域: インドネシア

腸管出血性大腸菌感染症168例(有症者129例、うちHUS 5例)

感染地域: 国内167例、韓国1例

国内の多い感染地域: 愛知県14例、岩手県12例、東京都12例、大阪府12例、石川県10例、神奈川県9例、福岡県9例、埼玉県7例、兵庫県7例、熊本県7例、群馬県6例、広島県6例

年齢群: 1歳(13例)、2歳(6例)、3歳(10例)、4歳(7例)、5歳(6例)、6歳(9例)、7歳(4例)、8歳(7例)、9歳(4例)、10代(32例)、20代(18例)、30代(17例)、40代(5例)、50代(13例)、60代(10例)、70代(5例)、80代(1例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(82例)、O157 VT2(32例)、O26 VT1(23例)、O157 VT1(6例)、O157 VT不明(6例)、O26 VT不明(3例)、O121 VT2(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O121 VT不明(1例)、O111 VT1(1例)、O111 VT不明(1例)、O103 VT1(1例)、O145 VT1(1例)、その他・不明(8例)

累積報告数: 2,269例(有症者1,531例、うちHUS 39例、死亡1例)

4類感染症

A型肝炎2例

感染地域: 千葉県1例、鳥取県1例

デング熱4例

感染地域: フィリピン1例、インドネシア1例、ベトナム1例、イエメン1例

マラリア1例

三日熱__感染地域: インド

レジオネラ症7例(肺炎型7例)

感染地域: 東京都2例、神奈川県1例、福井県1例、愛知県1例、広島県1例、宮崎県1例

年齢群: 50代(2例)、60代(1例)、70代(3例)、80代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢3例(腸管アメーバ症3例)

感染地域: 神奈川県1例、広島県1例、中国1例

感染経路: 経口感染2例、性的接触1例(異性間)

ウイルス性肝炎1例

B型__感染経路: 性的接触(異性間)

急性脳炎5例

インフルエンザウイルスAH1pdm 1例__年齢群: 10代

病原体不明4例__年齢群: 2歳(1例)、10代(1例)、50代(1例)、70代(1例)

クロイツフェルト・ヤコブ病2例

孤発性プリオン病古典型2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群: 40代(死亡)

後天性免疫不全症候群14例(AIDS 4例、無症候9例、その他1例)

感染地域: 国内13例、インドネシア1例

感染経路: 性的接触12例(異性間5例、同性間7例)、不明2例

梅毒9例(早期顕症I期2例、早期顕症II期4例、晩期梅毒1例、無症候2例)

破傷風2例

年齢群: 60代(1例)、80代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

遺伝子型: *VanC* 1例__菌検出検体: 血液・胆汁

遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 喀痰

風しん1例(臨床診断例)

感染地域: 国内(都道府県不明)

年齢群: 20～24歳

麻しん11例〔麻しん(検査診断例4例、臨床診断例6例)、修飾麻しん(検査診断例)1例〕

感染地域: 国内11例

国内の感染地域: 埼玉県3例、滋賀県2例、大阪府2例、北海道1例、千葉県1例、三重県1例、京都府1例

年齢群: 0歳(3例)、1歳(3例)、2歳(1例)、3歳(1例)、15～19歳(1例)、25～29歳(1例)、60代(1例)

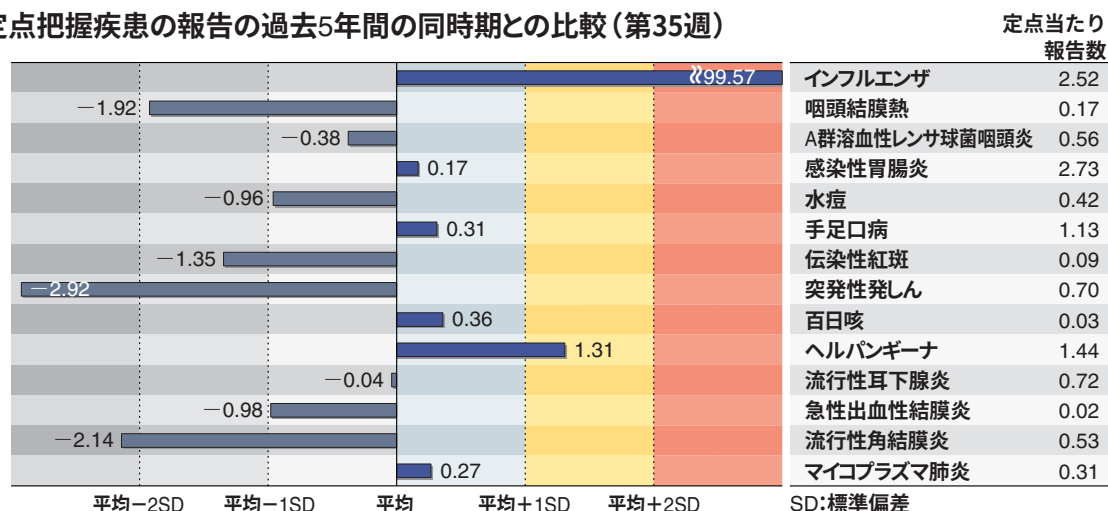
累積報告数: 594例〔麻しん(検査診断例184例、臨床診断例251例)、修飾麻しん(検査診断例159例)〕

(補)他に2009年第34週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域: ベトナム)、パラチフス1例(感染地域: スリランカ)、E型肝炎2例〔感染地域(感染源): 福島県1例(豚の生レバー)、神奈川県1例(不明)〕、レジオネラ症2例〔感染地域: 静岡県1例(温泉)、鳥取県1例(温泉)〕、急性脳炎4例〔アデノウイルス6型1例(3歳)、インフルエンザウイルスAH1pdm 1例(7歳)、病原体不明2例(2歳、死亡、8歳)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(80代、死亡)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体: 血液2例)などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第35週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第28週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(36.00)、大分県(3.72)、大阪府(3.08)、福岡県(3.08)、東京都(3.01)、高知県(3.00)、千葉県(2.95)、埼玉県(2.60)、熊本県(2.35)、愛知県(2.34)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は331例と第29週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では長野県(0.49)、福岡県(0.48)、北海道(0.45)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では山口県(1.26)、北海道(1.24)、福井県(1.05)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(6.6)、宮崎県(6.3)、福井県(5.8)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(1.47)、高知県(0.90)、鹿児島県(0.85)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県(3.95)、長崎県(3.77)、佐賀県(3.65)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では神奈川県(0.44)、佐賀県(0.26)、東京都(0.22)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(0.23)、沖縄県(0.12)、栃木県(0.10)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第32週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では香川県(4.1)、福井県(4.0)、富山県(3.8)が多い。

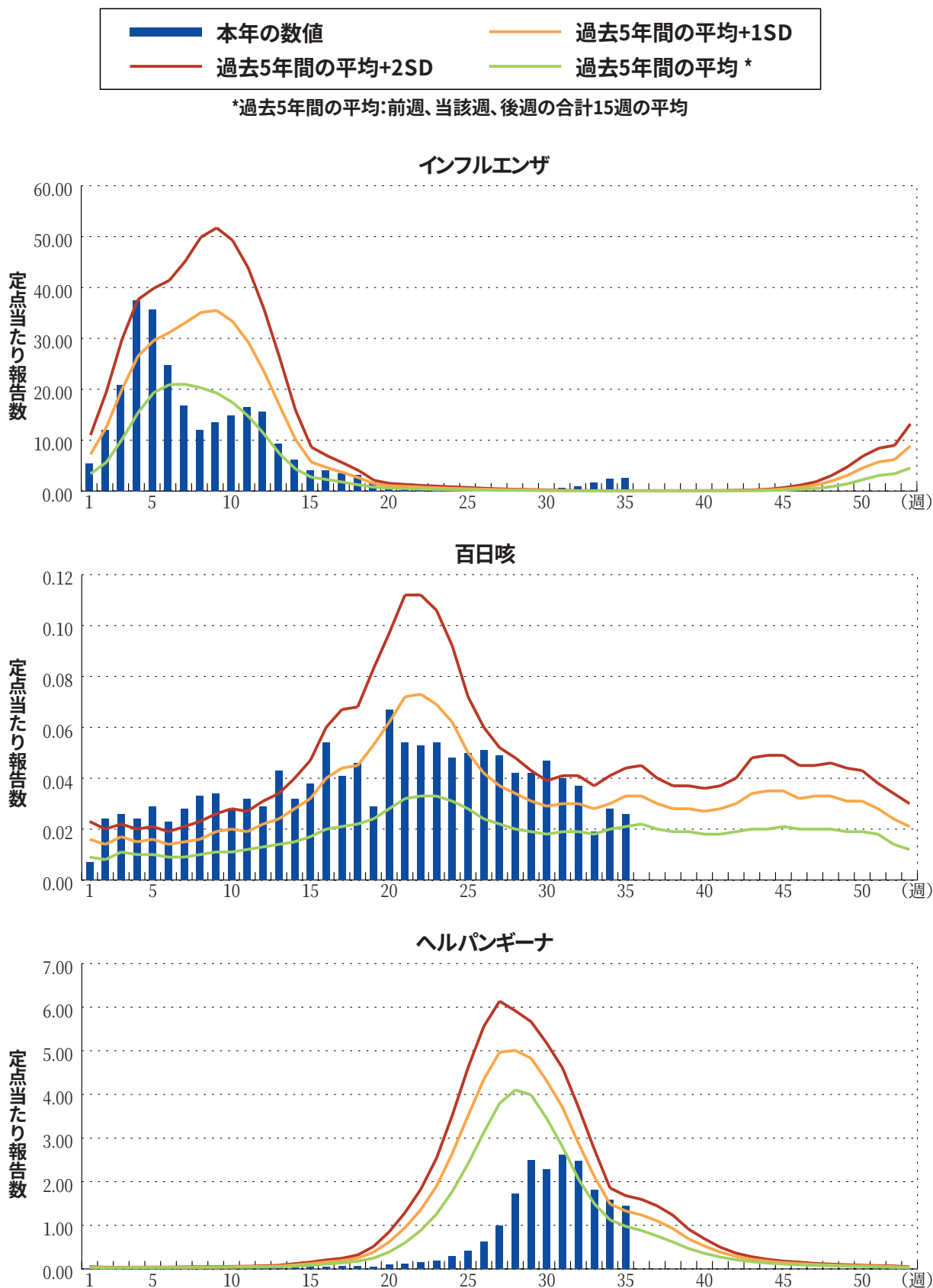
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(3.07)、福井県(2.55)、長崎県(1.77)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(3.29)、富山県(2.20)、福島県(1.14)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1～35週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。従来、ヒトからヒトに感染して臨床的に問題となっていた季節性インフルエンザの原因ウイルスとしてはA香港型(A/H3N2亜型)、Aソ連型(A/H1N1亜型)、B型の3種類があった。2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザA/H1N1の原因ウイルス(A/H1N1pdm)はAソ連型と同じA/H1N1亜型であるが、抗原性の解析に通常用いられるHI検査では両者の間には交差性は認められない。新型インフルエンザA/H1N1の臨床像は、従来の季節性インフルエンザとほぼ同様であり、その感染経路も季節性インフルエンザと同様に飛沫感染が主体であり、一部には接触感染があると考えられている(感染症情報センターホームページ: http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/2009idsc/infection_control_0901.html参照)。

感染症発生動向調査では、全国約4,800カ所のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。本サーベイランスは原則的に臨床診断によるものであり、最近の国内のインフルエンザウイルス検出状況を考慮すれば、現在報告されているインフルエンザ患者発生の殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される。

感染症発生動向調査によると、インフルエンザの定点当たり報告数は、2009年第28週以降増加が続いており、第35週は2.52(報告数12,007)となった(図1)。定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると、約14万人となった。都道府県別では沖縄県(36.00)、大分県(3.72)、大阪府(3.08)、福岡県(3.08)、東京都(3.01)、高知県(3.00)、千葉県(2.95)、埼玉県(2.60)、熊本県(2.35)、愛知県(2.34)の順となっている(図2)。沖縄県の報告数は大きく減少したが、青森県、栃木県、和歌山県を除く44都道府県で定点当たり報告数が1.00を超えている。また、保健所地域をみると47都道府県の409保健所地域で定点当たり報告数が1.00を超えており、インフルエンザの流行地域は増大している。

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999～2009年第35週)

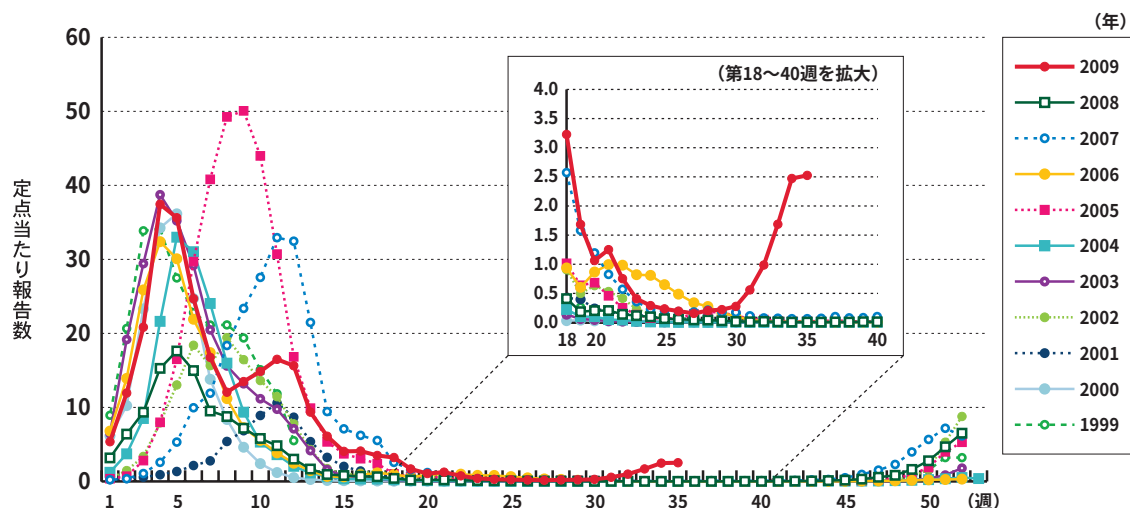
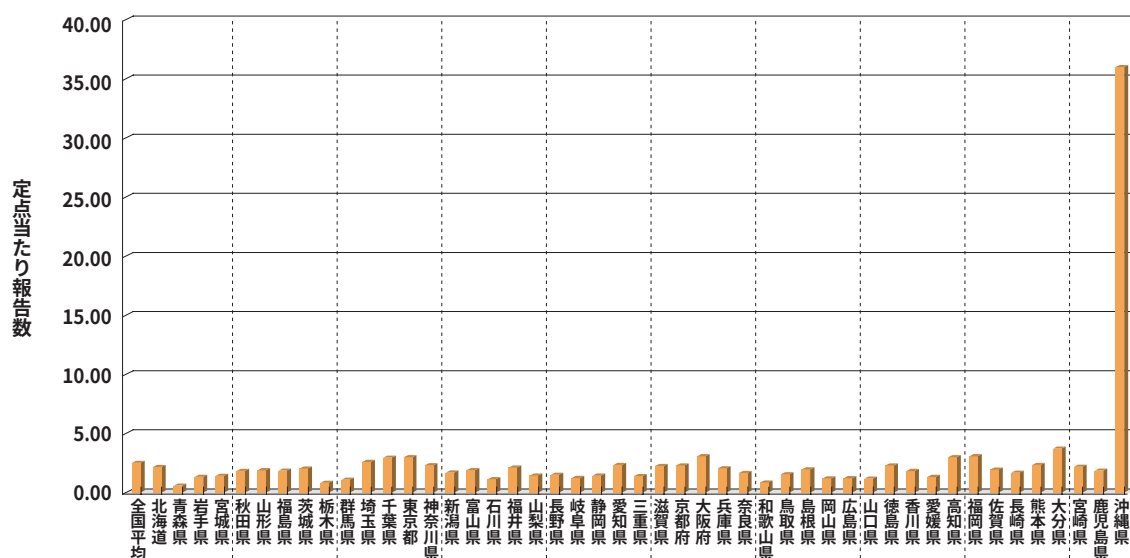
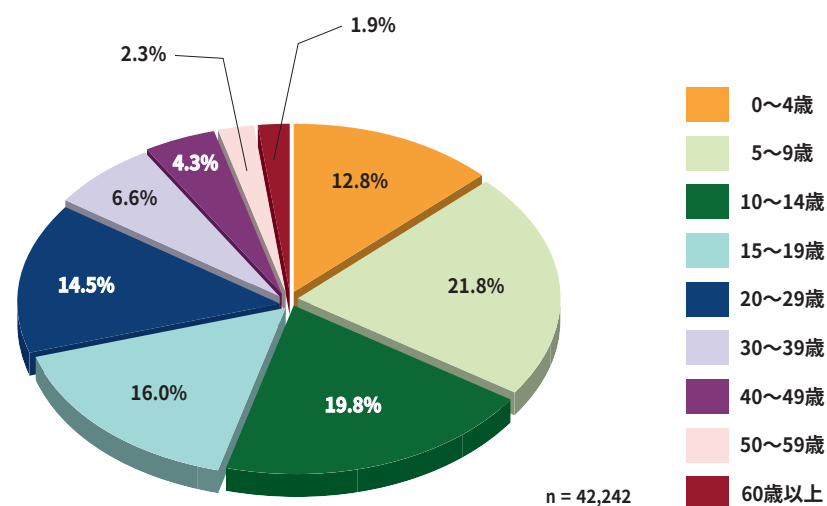


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2009年第35週)



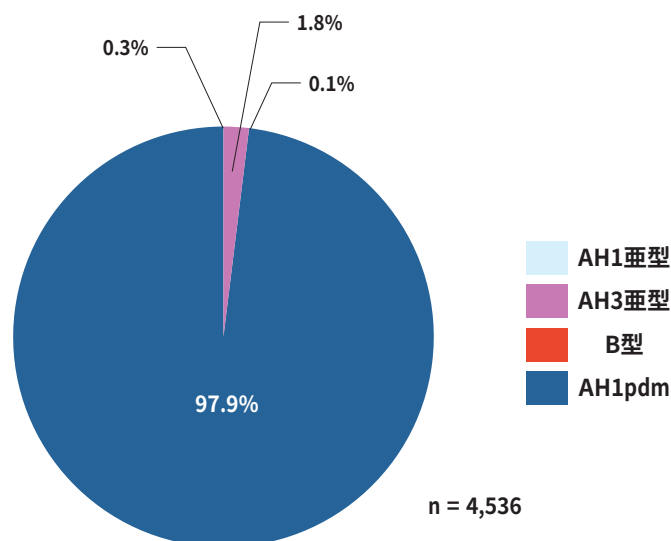
患者報告数が継続的に増加し始めた第28週以降第35週までの定点当たり累積報告数は9.28(累積報告数42,242)であり、年齢群別では5～9歳9,210例(21.8%)、10～14歳8,372例(19.8%)、15～19歳6,751例(16.0%)、20～29歳6,125例(14.5%)、0～4歳5,406例(12.8%)の順となっている。10歳未満の報告数の割合が増加してきており、20歳代までで全報告数の約85%を占めている(図3)。

図3. インフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2009年第28～35週)



日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降35週までに6,635件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは5,666件(85.4%)を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた第28週以降では、第35週までにAH1亜型(Aソ連型)12件(0.3%)、AH3亜型(A香港型)80件(1.8%)、B型4件(0.1%)、AH1pdm(新型インフルエンザウイルス)4,440件(97.9%)とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものであると推定される(図4および感染症情報センターホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sinin1.gif> 参照)。

図4. インフルエンザウイルス検出割合報告(2009年第28～35週)
(病原微生物検出情報: 2009年9月3日現在報告数)



第35週はインフルエンザ定点からの報告数(定点当たり報告数2.52、報告数12,007)が前週の第34週(定点当たり報告数2.47、報告数11,636)よりも増加したが、受診患者数の推計では約14万人と前週の約15万人から減少した。この相違については、小児科を受診する14歳以下の報告数が増加し(第34週6,184→第35週7,163)、内科を受診する15歳以上の報告数が減少した(第34週5,452→第35週4,844)ことが一因と考えられた。定点からの報告数は小児科定点が内科定点よりも多い(小児科定点数約3,000、内科定点数約1,800)ために、小児科での増加が強調されたものとなっている。一方、受診患者数の推計値は、全国の医療機関での小児科数と内科数に補正されているために(全国の医療機関では内科が小児科よりも多い)、小児科での増加と内科での減少がバランスされたものとなっている。ただし、「受診患者数の推計値」は、全国の医療機関の受診患者数を一部の定点医療機関の報告数から推計するために、不確実性が存在し、一定の変動範囲(95%信頼区間という)を有している。受診患者数の95%信頼区間を見積もると、第34週で約13～17万人、第35週で約13～16万人となった。これらの95%信頼区間の重なりが大きいことから、この2つの週における受診患者数の推計値には大きな変化がなかったとみることもできる。

沖縄県は、本格的な流行が続いているものの、定点当たり報告数が前週よりも大幅に減少し、冬季の季節性インフルエンザの流行であれば、流行のピークを過ぎたと考えられるが、第35週は8月の最終週であり、夏季休暇が終了する第36週以降に、流行が再増大する可能性は否定できない。他の都道府県では、いまだ新型インフルエンザによる本格的な流行は訪れておらず、殆どすべての学校が再開される第36週以降の流行の推移には警戒が必要である。

これまでのインフルエンザ・パンデミックの例をみても、新型インフルエンザの流行は、国民の多くが感染し免疫を保有するに至るまでは繰り返されるものと考えられる。また、現時点においては、いまだ殆どの国民が感受性者であることから、たとえ秋季の流行であっても、その規模は従来の冬季における季節性インフルエンザの流行よりも大きくなる可能性があることを考慮しておくべきである。従って、本格的な流行となった場合に、現在の医療体制を維持し、国民に対して医療サービスを提供し続けることが大きな課題であり、また、流行規模の増大に伴って、心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、糖尿病等の慢性疾患患者、妊婦、乳幼児、高齢者等のいわゆるインフルエンザの罹患による重症化が予想される者に対する注意と対策に関する準備も急務であると思われる。新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも警戒が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年9月3日現在報告分)

◆インフルエンザウイルス 2009年5～8月

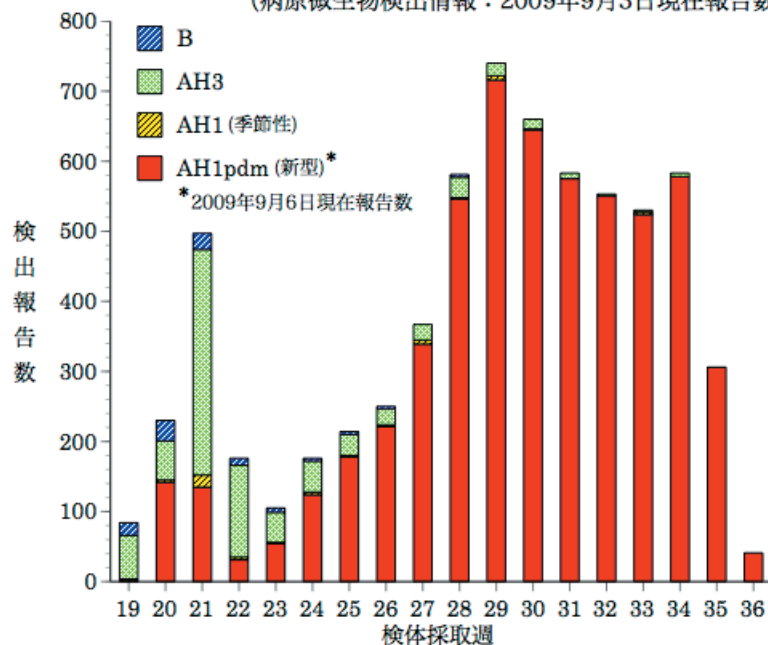
国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

新型インフルエンザの発生に対応して、2009年5月以降、地研で鑑別診断のための検査が行われている。第19週に最初の新型インフルエンザウイルスAH1pdm検出例が報告され、第20週以降検出数が増加している。

AH1pdmは、2009年第19～36週に44都道府県から5,707件の分離・検出が報告されており(2009年9月6日現在報告分)、このうち、4,048件はPCRで検出、1,650件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、9件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎(気管支炎、肺炎)35件、インフルエンザ脳症6件、死亡例5件が報告されている。

ちなみに、第19～36週に季節性インフルエンザウイルスの検出はAH1亜型(Aソ連型)55件、AH3亜型(A香港型)813件、B型101件の報告があり(2009年9月3日現在報告数)、AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の85%を占めている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19～36週
(病原微生物検出情報: 2009年9月3日現在報告数)

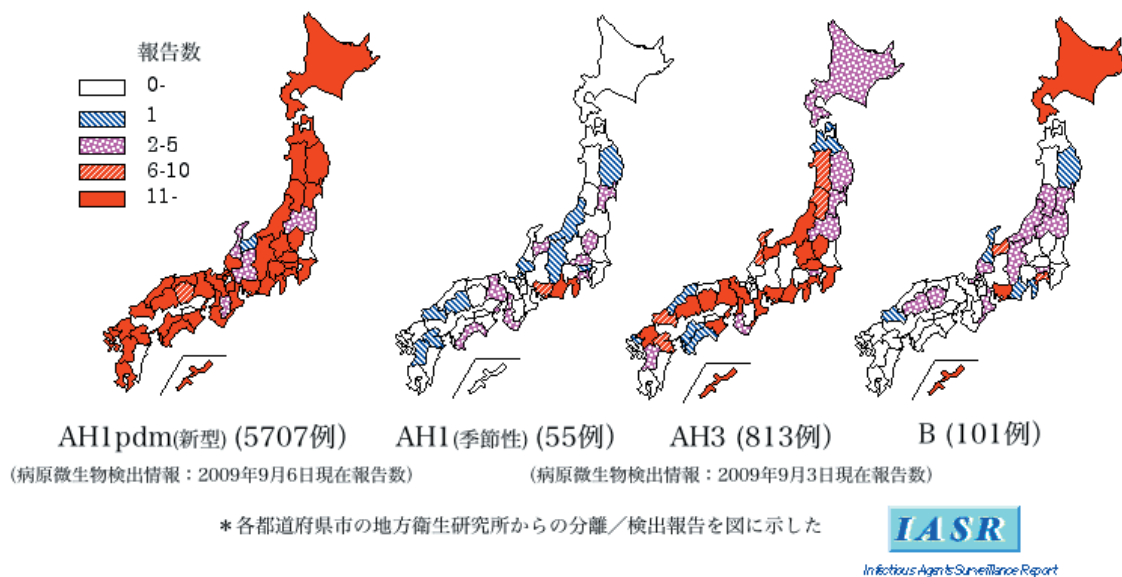


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第19週～36週

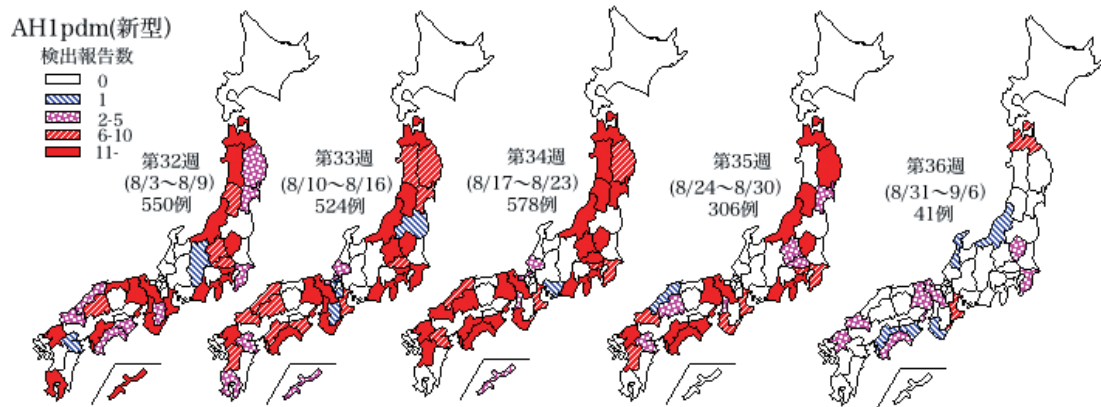


直近の5週間(第32～36週)の分離・検出ではAH1pdmが37都府県から計1,999件、AH3亜型が5県から計11件、AH1亜型(季節性)が2県から計3件報告されている。第29週以降、B型は報告されていない。

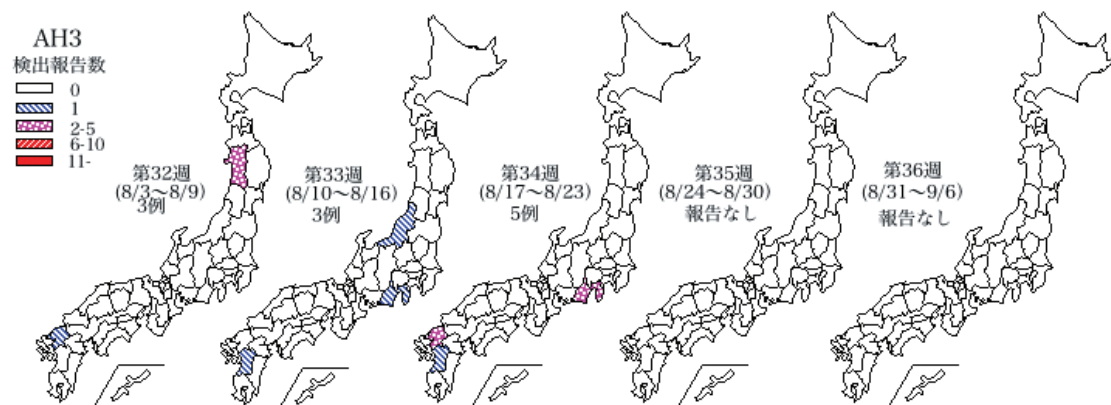
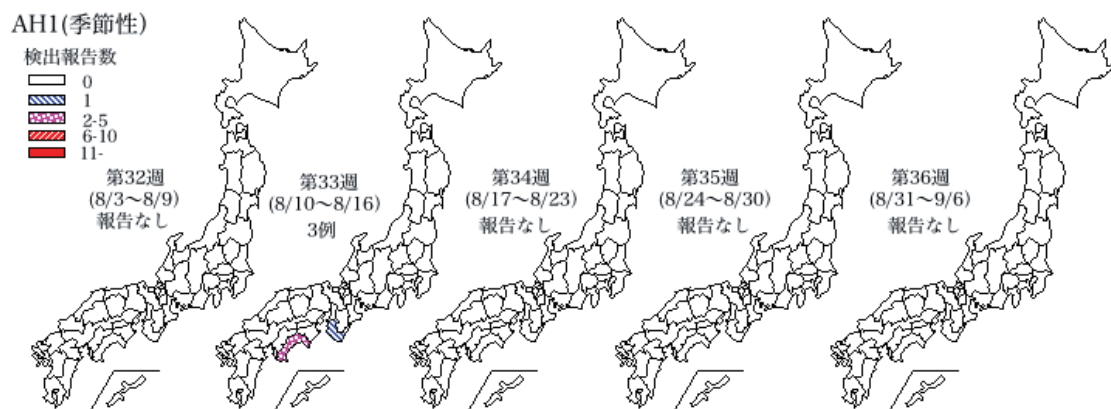
また、第25～29週には輸入例からの検出が大きく増加していたが[AH1pdmが461件、AH3亜型が53件、AH1亜型(季節性)が13件]、第30週以降、多くの自治体が疑い例の全例検査を中止したため、第30～35週にはAH1pdmが73件、AH3亜型が11件と報告が減少している。

インフルエンザウイルス分離・検出速報 は<http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第32～36週



(病原微生物検出情報: 2009年9月6日現在報告数)



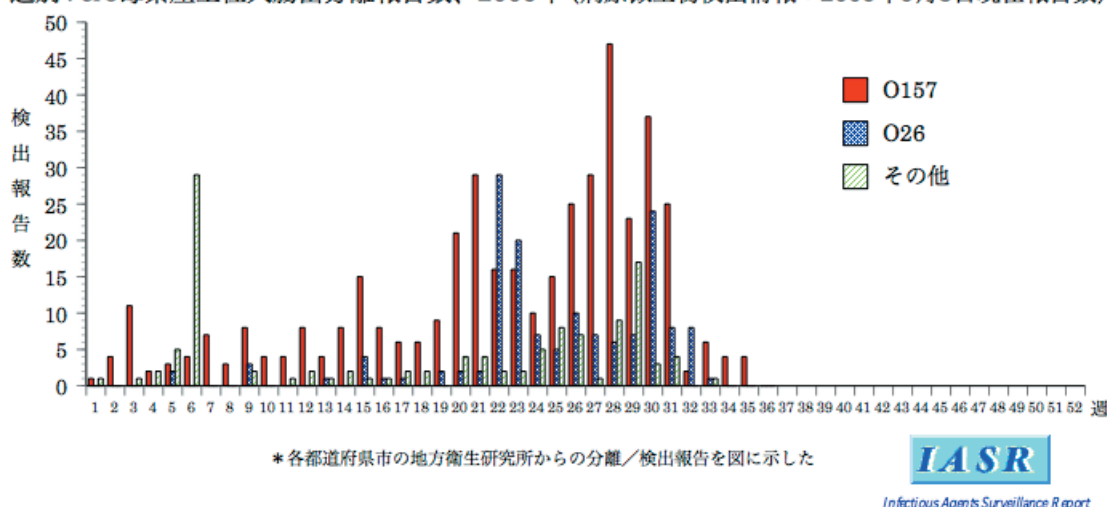
(病原微生物検出情報: 2009年9月3日現在報告数)

* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年

2009年第1～35週(12/29～8/30)までの検出総数は694件で、このうち集団発生例からの検出として、第5～6週に大分県(保育所)でO121が31件、第14～16週に新潟県(ホテル)でO157が17件、第20週に福岡県(中国ツアー)でO157が6件、第21～22週に兵庫県(福祉・養護施設)でO157が5件、第22～23週に愛媛県(保育所)でO26が46件、第25週に奈良県(保育所)でO157が2件、第26～27週に新潟県(小児集団)でO26が5件、第29週に千葉県(保育所)でO121が6件、第29～30週に宮崎県(保育所)でO26が19件、第30～31週に石川県でO26が11件、第31週に佐賀県(友人)でO157が2件、第30～32週に佐賀県(保育所)でO26が7件報告されている。

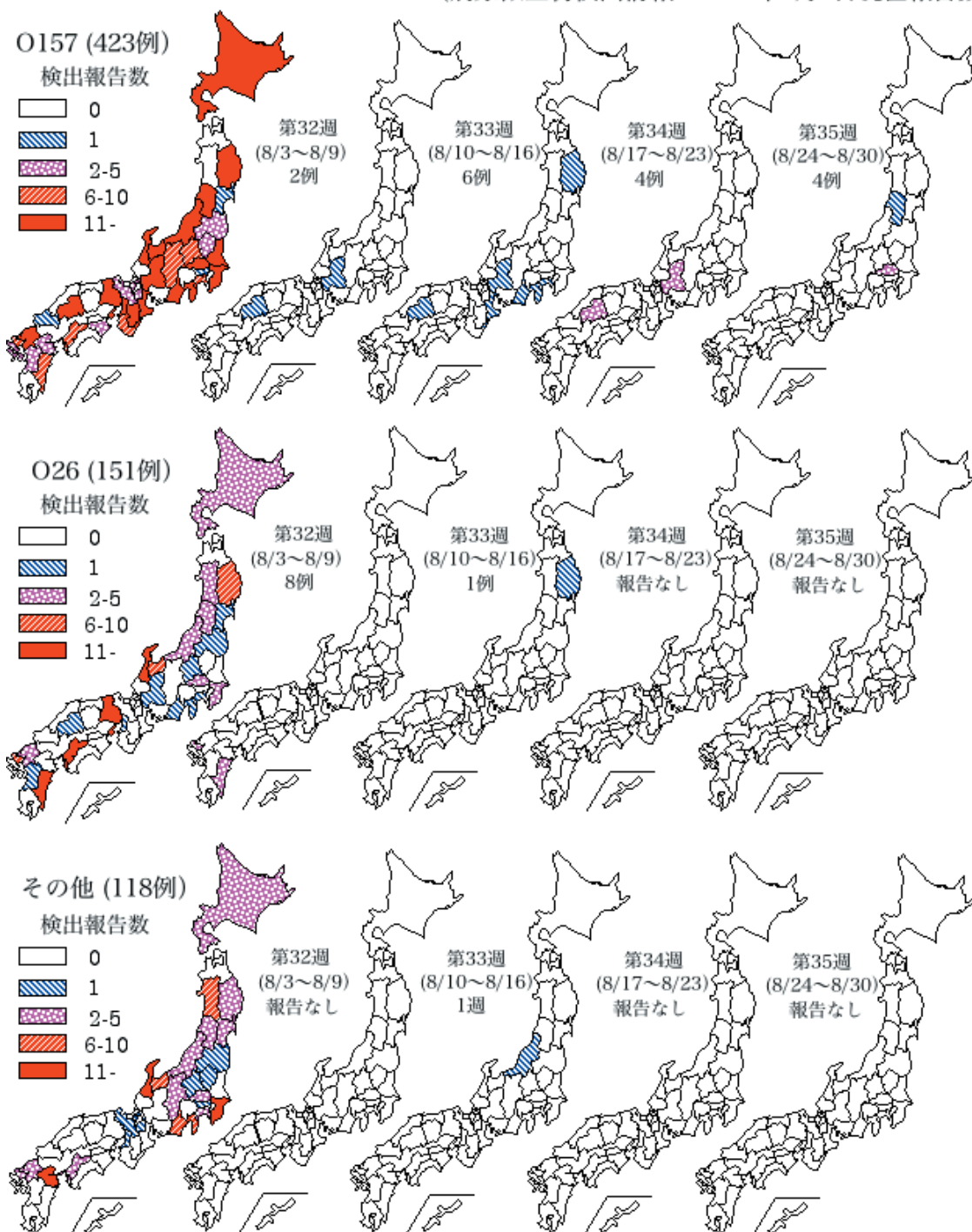
週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2009年(病原微生物検出情報: 2009年9月3日現在報告数)



2009年1～8月にO157が35都道府県から423件、O26が23道府県から151件、その他の血清型が24都道府県から118件報告されている。

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2009年

(病原微生物検出情報: 2009年9月3日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



◆腸管出血性大腸菌感染症2008年 (2009年6月16日現在)

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が診断した全ての医師に義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。腸管出血性大腸菌感染症の報告は1996年8月6日に伝染病予防法のもとで指定伝染病に規定された時に始まっているが、以下においては、1999年4月の感染症法施行以降の報告の範囲で記述する。

■年次推移(図1-1、図1-2)

2008年の年間報告数(診断週が2008年第1～52週のもので、2009年6月16日までに報告されたもの)は4,321例であった。2000～2007年の年間累積報告数(2000年3,648例、2001年4,435例、2002年3,183例、2003年2,999例、2004年3,764例、2005年3,589例、2006年3,922例、2007年4,617例)と比較すると、2007年、2001年に次いで3番目に多く、2年続けて4,000例を超えた。4,321例のうち有症状者は2,818例であり、65.2%を占めた。

図1-1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・症状別発生状況(1999年4月～2008年)

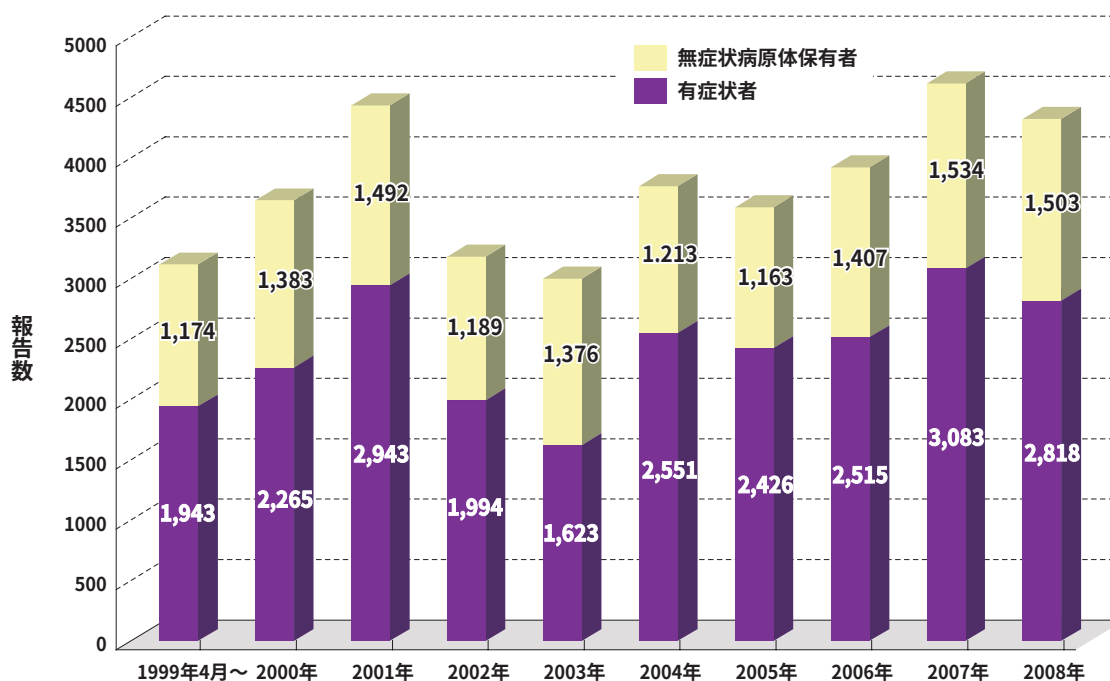
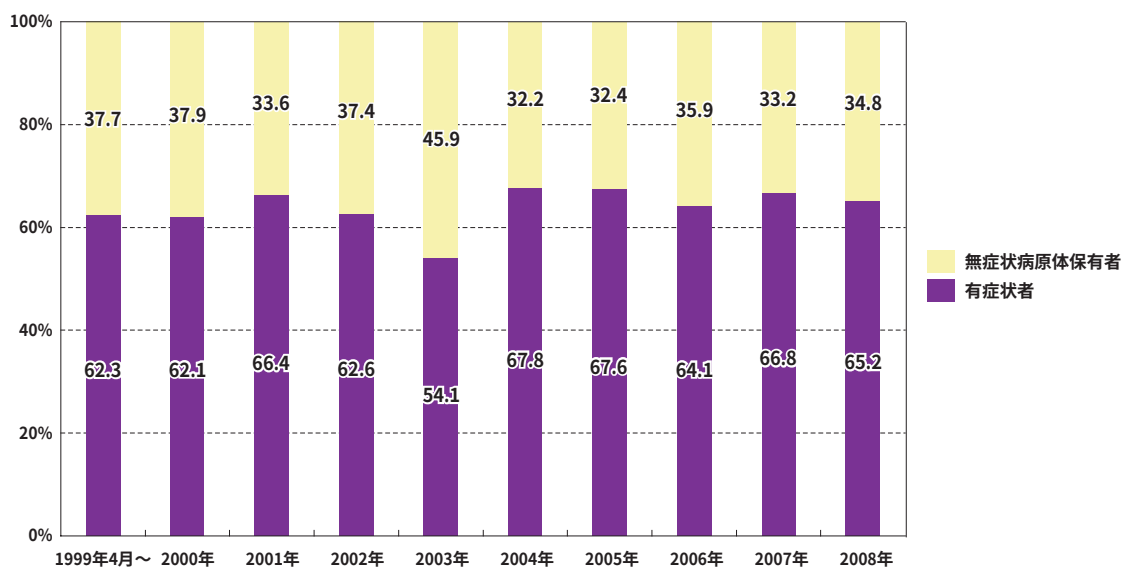


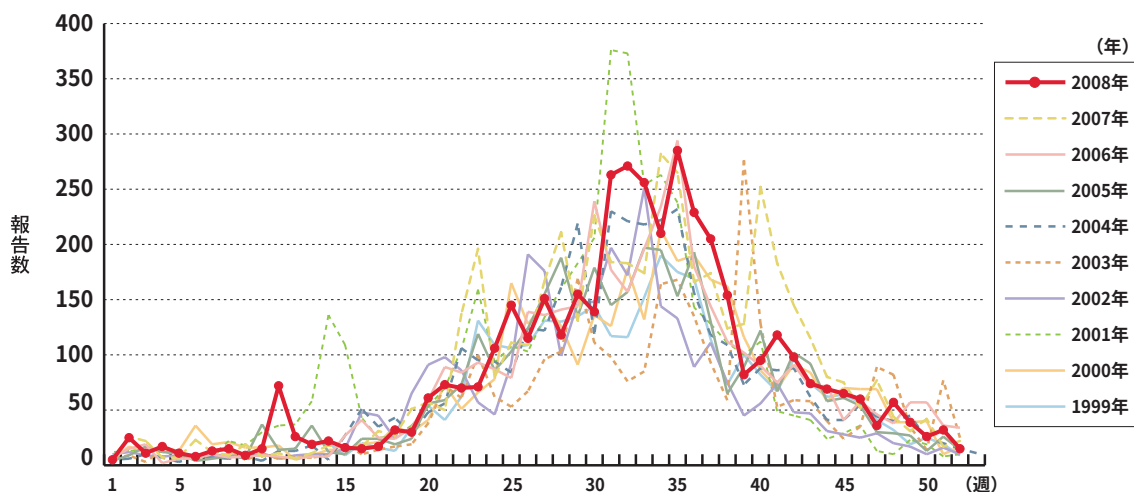
図1-2. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・有症状者割合(1999年4月～2008年)



■週別推移(季節性)(図2)

例年、報告数の最大のピークは夏季にみられ、2008年においても8月をピークとして、7月中旬から9月中旬にかけて報告数が多かった。なお、3月(第11、12週)にみられた報告数の増加は、海外へ修学旅行に出かけた高校生・教員およびその家族の間での集団感染(76例)が佐賀県で発生したためのものである。

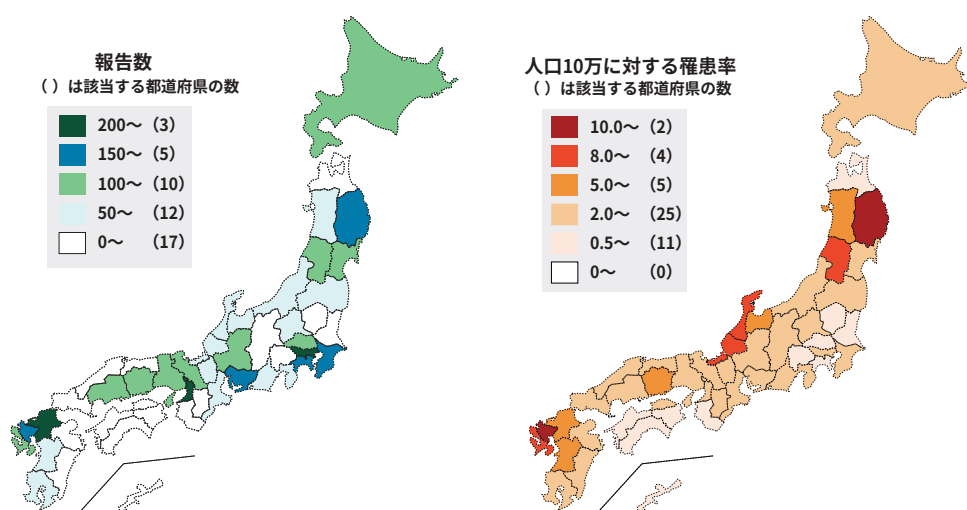
図2. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年第14週～2008年)



■都道府県(報告地であり、必ずしも感染した都道府県を示すものではない)(図3)

都道府県別にみると、東京都(410例)、福岡県(267例)、大阪府(245例)、千葉県(183例)、神奈川県(173例)、佐賀県(173例)の順に多く、18の都道府県で年間累積報告数が100例を超えた。人口10万人当たりの罹患率でみると、佐賀県(20.2: 報告数173例)、岩手県(12.2: 報告数165例)、長崎県(9.7: 報告数139例)、福井県(9.6: 報告数78例)、山形県(8.4: 報告数100例)、石川県(8.1: 報告数94例)の順に多かった。

図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告数と罹患率(2008年)
「総務省統計局推計人口(2009年4月16日公表データ)使用」



■感染地域(確定または推定として報告されている)

感染地域を国内とするものが4,216例(97.6%)、国外とするものが99例(2.3%)、不明が6例(0.1%)であった。

国内の感染地域詳細として4,216例について内訳をみると、東京都(333例)、福岡県(247例)、大阪府(239例)、岩手県(168例)、千葉県(160例)、愛知県(146例)、長崎県(136例)が多かった。国内感染での比較的大きな集団発生事例としては、岩手県の幼稚園関連(84例: 第36～39週)^{*1}、福岡県の幼稚園関連(46例: 第36～38週)、東京都の保育施設関連(39例: 第41～49週)、長崎県の保育施設関連(37例: 第32～33週)、富山県の保育施設関連(34例: 第26～32週)^{*2}、東京都の保育施設関連(33例: 第31～35週)、長崎県の病院関連(32例: 第24～26週)^{*3}などがあった。

国外の感染国の内訳は、オーストラリア73例、韓国6例、タイ5例、インドネシア4例、ハワイ3例、ベトナム2例、アラブ首長国連邦、トルコ、メキシコ、モンゴル、台湾/タイ、アルジェリア/チュニジア各1例であった。国外感染での集団発生事例としては、オーストラリアへの修学旅行(72例: 第10～12週)^{*4}が報告された。

*病原微生物検出情報IASR

1 Vol.30 p128-129.2009 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/30/351/dj3517.html>

2 Vol.30 p126-127.2009 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/30/351/dj3515.html>

3 Vol.30 p76-77.2009 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/30/349/kj3492.html>

4 Vol.29 p162-163.2009 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/340/pr3406.html>

■性・年齢(図4、図5)

性別では男性1,997例(うち有症状者1,342例、67.2%)、女性2,324例(うち有症状者1,476例、63.5%)で、年齢は0～100歳(中央値18歳)であった。年齢群別にみると、10歳未満1,610例(0～4歳977例、5～9歳633例)、10代633例、20代639例、30代460例、40代242例、50代301例、60代207例、70代133例、80代85例、90代10例、100代1例であった。20歳未満では男性がやや多いが、20歳以上では女性が多くなっており、年齢中央値は男性12歳、女性23歳で2007年(男性14歳、女性21歳)と同様の性差が認められた。症状別でみると、男性では30代、40代で、女性では30代、40代、50代で無症状病原体保有者が多かった。有症状者の占める割合は10代79.6%、70代以上73.8%、20代71.8%、10歳未満71.2%、60代54.1%の順に大きかった。

図4. 腸管出血性大腸菌感染症の年齢群別割合(2008年)

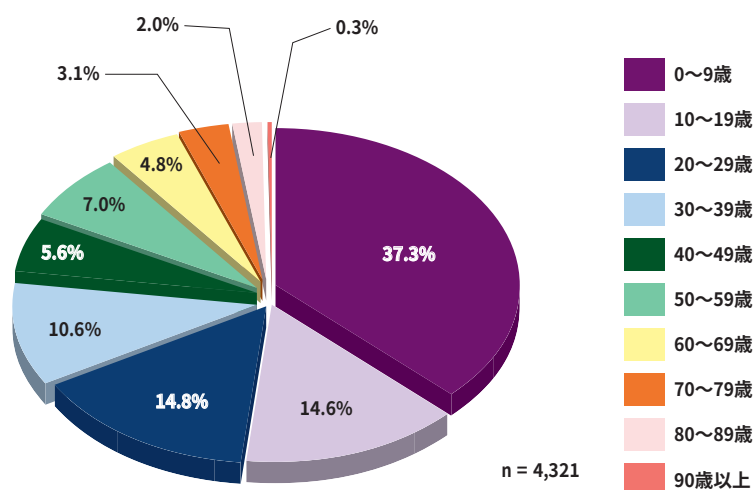
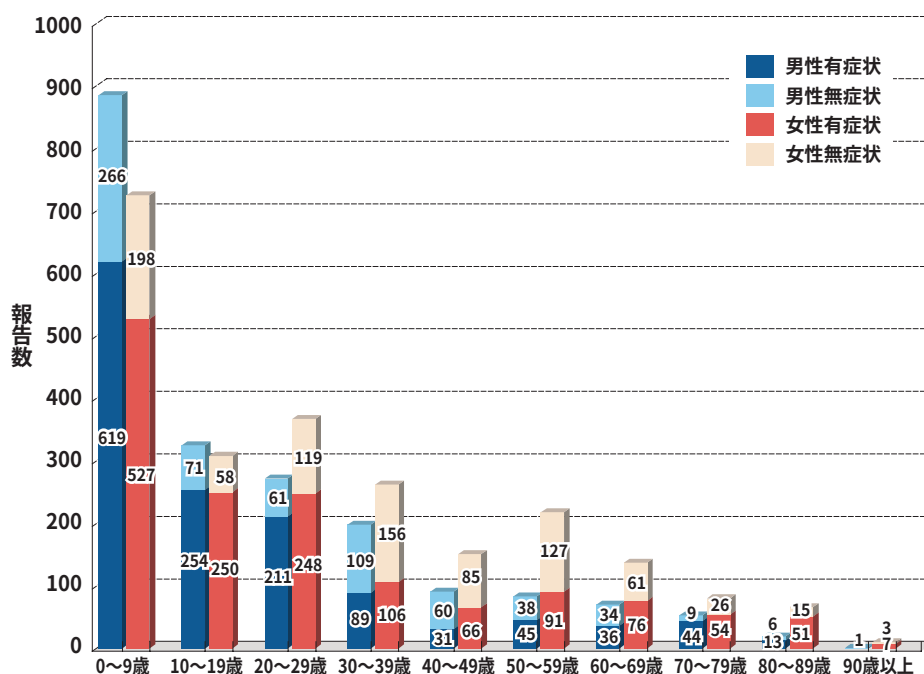


図5. 腸管出血性大腸菌の性別・年齢群別・症状の有無別報告数(2008年)



■感染経路・感染源(確定または推定として報告されている)

4,321例の感染経路は、経口感染1,636例(37.9%)、接触感染835例(19.3%)、経口または接触感染142例(3.3%)、経口または動物・蚊・昆虫等(以下動物等)からの感染31例(0.7%)、動物からの感染12例(0.3%)、経口または接触または動物等からの感染6例(0.1%)、接触または動物等からの感染4例(0.1%)、その他38例(0.9%)、不明・記載なしが1,617例(37.4%)であった。その他としては、職場の定期検便・健康診断37例、検査中の感染1例などが報告されていた。経口感染とされた1,815例(複数の感染経路での報告を含む)のうち、肉類の喫食が記載されていたものは576例あった。576例のうち、257例は生肉(加熱不十分の肉を含む)を喫食しており、種類として生レバー・レバ刺しが144例と多かった。

■O血清群・毒素型(表1)

4,321例のO血清群は、O157 2,767例(64.0%)、O26 917例(21.2%)、O111 168例(3.9%)の順に多く、これは従来と同様であった。毒素型も加えると、O157 VT1・VT2 1,548例(うち有症状者76.2%)、O157 VT2 1,055例(うち有症状者63.8%)、O26 VT1 868例(うち有症状者50.0%)の順であり、これも従来と同様であった。集団発生事例では例年保育施設・幼稚園に関連したものが多く含まれているが、なかでもO26 VT1によるものが多い。2008年は18事例が確認され、そのうち30例以上の感染者(無症状病原体保有者を含む)が報告されたものが4事例あった*5。

*病原微生物検出情報IASR

5 Vol.30 p123-124.2009 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/30/351/dj3512.html>

表1. 腸管出血性大腸菌感染症の報告症例における原因菌の血清群と毒素型(2008年)

O血清群	毒素型	有症状者	無症状病原体保有者	合計
		再掲 (国外感染)	再掲 (国外感染)	再掲 (国外感染)
O157	VT1	45 (1)	25	70 (1)
	VT2	673 (4)	382 (2)	1,055 (6)
	VT1・VT2	1,179 (8)	369 (3)	1,548 (11)
	VT不明	85	9	94
	小計	1,982 (13)	785 (5)	2,767 (18)
O26	VT1	434 (40)	434 (37)	868 (77)
	VT2	1	1	2
	VT1・VT2	21	17	38
	VT不明	8	1	9
	小計	464 (40)	453 (37)	917 (77)
O111	VT1	41 (1)	21	62 (1)
	VT2	1	0	1
	VT1・VT2	73	30	103
	VT不明	2	0	2
	小計	117 (1)	51	168 (1)
O103	VT1	55	53	108
	VT1・VT2	1	3	4
	VT不明	1	0	1
	小計	57	56	113
O145	VT1	21	16	37
	VT2	13	11	24
	VT1・VT2	2	1	3
	小計	36	28	64
O121	VT2	42	11	53
	小計	42	11	53
O91	VT1	7	33	40
	VT2	1	0	1
	VT1・VT2	1	6	7
	小計	9	39	48
O165	VT2	12	4	16
	VT1・VT2	2	1	3
	小計	14	5	19

その他	O1	VT2	1	0	1
	O6	VT1	1	0	1
	O6	VT2	0	1	1
	O15	VT1・VT2	0	3	3
	O18	VT1	1	0	1
	O25	VT1	0	2	2
	O25	VT1・VT2	0	1	1
	O28	VT2	1	0	1
	O28ac	VT2	1	0	1
	O55	VT1	2	0	2
	O55	VT2	1	0	1
	O63	VT2	1	1	2
	O74	VT1	0	2	2
	O74	VT1・VT2	2 (1)	0	2 (1)
	O76	VT1	0	1	1
	O88	VT1・VT2	0	1	1
	O98	VT1	0	1	1
	O115	VT1	1	4	5
	O115	VT2	2	0	2
	O119	VT1	2	1	3
	O126	VT1	2	0	2
	O128	VT1	2 (1)	2	4 (1)
	O128	VT1・VT2	3	3	6
	O146	VT1	0	3	3
	O146	VT2	0	3	3
	O146	VT1・VT2	0	1	1
	O148	VT1	0	1	1
	O153	VT2	0	1	1
	O156	VT1	0	1	1
	O166	VT1・VT2	0	1	1
	O179	VT2	0	1	1
	OUT	VT1	1	10	11
	OUT	VT2	1	1	2
	不明	VT1	13 (1)	8	21 (1)
		VT2	8	14	22
		VT1・VT2	15	6	21
		VT不明	32	0	32
小計			93 (3)	74	167 (3)
複数検出	O157VT2 + O26VT		1	1	2
	O157VT1VT2 + O103VT1		1	0	1
	O26VT1 + O125VT1		1	0	1
	O157VT2 + O121VT2		1	0	1
	小計		4	1	5
総計			2,818 (57)	1,503 (42)	4,321 (99)

■重症例・死亡例(図6、表2、表3)

2006年の4月(第13週～)から溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限り、菌が分離されなくても、便からのVero毒素(VT)検出、あるいは血清におけるO抗原凝集抗体または抗VT抗体検出によって診断されたものが、届出の対象となった。同時に届出様式が変更され、それまで任意記載であった臨床症状の報告は、主な症状が選択式となり、急性腎不全、痙攣、昏睡、脳症などが選択項目となり、これらの症状も把握されやすくなった。

HUSは94例が報告され、有症状者の3.3%が発症していた。2006、2007年の報告数(102例、129例)および有症状者での発症率(4.1%、4.2%)と比較し、いずれも下回った。性別では男性39例、女性55例であった。年齢は1～88歳(中央値4.5歳)で、年齢群別では0～4歳が47例(有症状者の6.9%)と最も多く、5～9歳21例(同4.5%)、10～14歳8例(同3.2%)、15～64歳12例(同1.0%)、65歳以上6例(同2.8%)であった。HUS発症例は10歳未満の小児に多くみられたが、有症状者に占めるHUS発症率は、0～4歳と5～9歳の両年齢群において2007年(各7.5%、8.9%)よりも低かった。HUS発症例の診断方法は、菌分離が64例(68.1%)、菌は分離されなかったが血清でのO抗原凝集抗体が30例(31.9%)で、便から直接のVT検出はなかった。菌が分離された64例の血清

群・毒素型をみると、O157 VT1・VT2 29例、O157 VT2 27例などO157が計57例で全体の89.1%を占め、他にO111が4例(VT1・VT2 3例、VT不明 1例)、O55 VT1が1例、O121 VT2が1例、O157 VT2とO26 VT1が1例であった。また、O抗原凝集抗体の検出により診断された30例のうち、確認できた範囲では21例がO157であった。

死亡例の把握は届出時点で記載されていたか、または届出後に任意に追加報告されたものに限られるが、8例みられており、内訳は2歳男性(O157 VT2、HUS)、10代女性(O157 VT1・VT2、HUS、脳症)、60代女性(O157 VT2、急性腎不全)、70代男性(O157 VT1・VT2、急性腎不全、溶血性貧血、痙攣)、80代女性(O157 VT1・VT2、HUS)、80代女性(O157 VT2、HUS)、80代男性(O157 VT2、急性腎不全)、80代男性(O157 LPS抗体、HUS)であった。報告されたHUS発症例(94例)の致死率は4.3%であった。

なお、HUSの合併や死亡の報告については、届出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があるため、このような発生があった場合には報告の追加、修正をお願いしている。

図6. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS症例の性別・年齢群別報告数(2008年)

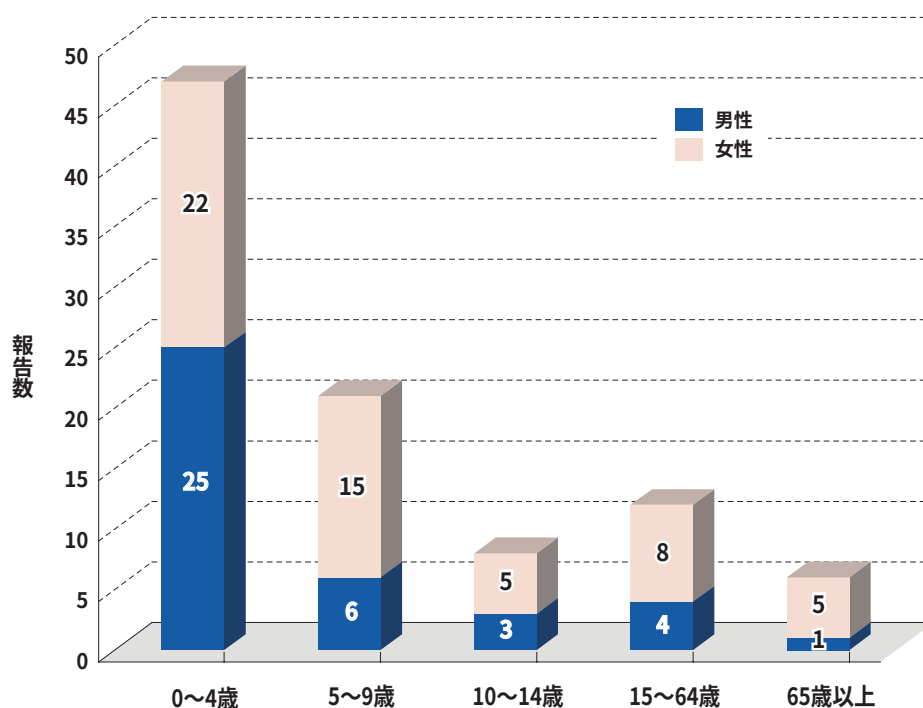


表2. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例の
年齢別報告数と有症状者に占める割合(2008年)

2008年			
年齢群	HUS	有症状者	HUS/有症状者 (%)
0～4歳	47	683	6.9%
5～9歳	21	463	4.5%
10～14歳	8	252	3.2%
15～64歳	12	1,205	1.0%
65歳以上	6	215	2.8%
総計	94	2,818	3.3%

表3. 腸管出血性大腸菌感染症のHUS発症例における分離菌の血清群と毒素型(2008年)

O 血清群		毒素型	2008年 再掲 (死亡)
O157		VT1	0
		VT2	27 (2)
		VT1・VT2	29 (2)
		VT不明	1
小計			57 (4)
O111		VT1・VT2	3
		VT不明	1
小計			4
その他	O55	VT1	1
	O121	VT2	1
複数菌検出		O157 VT2 + O26 VT1	1
小計			3
総計			64 (4)

<参考>菌分離以外の診断によるHUS報告症例

血清でのO抗原凝集抗体	30 [*] (1)
便でのベロ毒素検出	0

^{*} うちO157LPS抗体陽性と報告されたもの: 21

■2008年のまとめ

感染症法施行以降の年間累積報告数を2000年以降の9年間でみると、2008年は2007年、2001年に次ぐ3番目の報告数であり、2年連続して4,000例を超えた。2008年も従来と変わらず各地で保育施設・幼稚園での集団感染事例が発生し、特にO26 VT1による感染者の増加が目立った。

HUS発症例は94例(2004年48例、2005年42例、2006年102例、2007年129例)で、HUS発症者の届出基準が改正された2006年以降の過去2年の報告数と比べて少なかったが、死亡の報告数は8例(1999年1例、2000年2例、2001年4例、2002年4例、2003年2例、2004年5例、2005年10例、2006年3例、2007年4例)であり、過去2年よりも多かった。小児や高齢者において、HUSなどの重症例や死亡例が多くみられており、特に10歳未満の小児は報告数が多く、HUS発症率は成人(15～64歳)の約7倍であった。

感染経路や感染源の推定・確定は、本症の潜伏期間が2～14日と比較的長いこともあり、はっきりしないことも多いが、近年生肉や生レバーが感染源と見られる届出も多く認められている。特に小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控える必要がある。食品の取り扱いには十分注意して、食中毒の発生予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。最近では自治体をまたいだ広域発生事例も散見されており、食材・食品の流通という観点も併せ、事例調査と対策における自治体間の連携は、本疾患の対策上今後ますます重要と考える。また、保育施設や幼稚園などでの集団感染事例が後を絶たない。1人では手指衛生を十分に行えない乳幼児が集団生活を営む施設では特に、感染症発生の早期探知と二次感染予防を含めた拡大防止策の徹底が重要である。

■2009年暫定報告数(2009年9月2日現在)

報告数は2269例で、うち有症状者は1,531例、うちHUS発症例は39例である。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

●パンデミックインフルエンザ(N1N1)2009－検査診断例の公式報告数

2009年9月4日－更新64

前回の更新(更新63)以降、2009年8月30日までに、新型インフルエンザの初発患者を報告した国や地域は以下のとおりである。

ジンバブエ、ジブチ

WHO発表の症例数 (日本時間 2009年8月30日 現在)

地域名	累計	
	確定例	死亡例
WHOアフリカ地域 (AFRO)	3,872	11
WHOアメリカ地域 (AMRO)	116,046	2,234
WHO東地中海地域 (EMRO)	5,031	21
WHOヨーロッパ地域 (EURO)	46,000 以上	少なくとも 104
WHO東南アジア地域 (SEARO)	19,362	188
WHO西太平洋地域 (WPRO)	63,895	279
総計	254,206以上	少なくとも 2,837



感染症の話

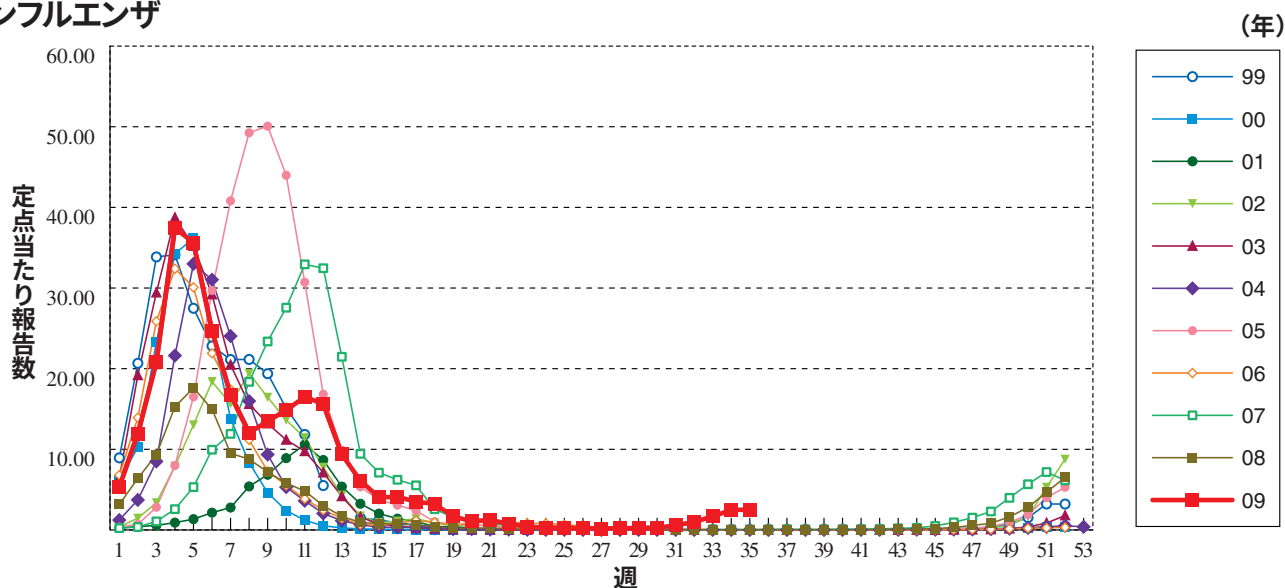
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

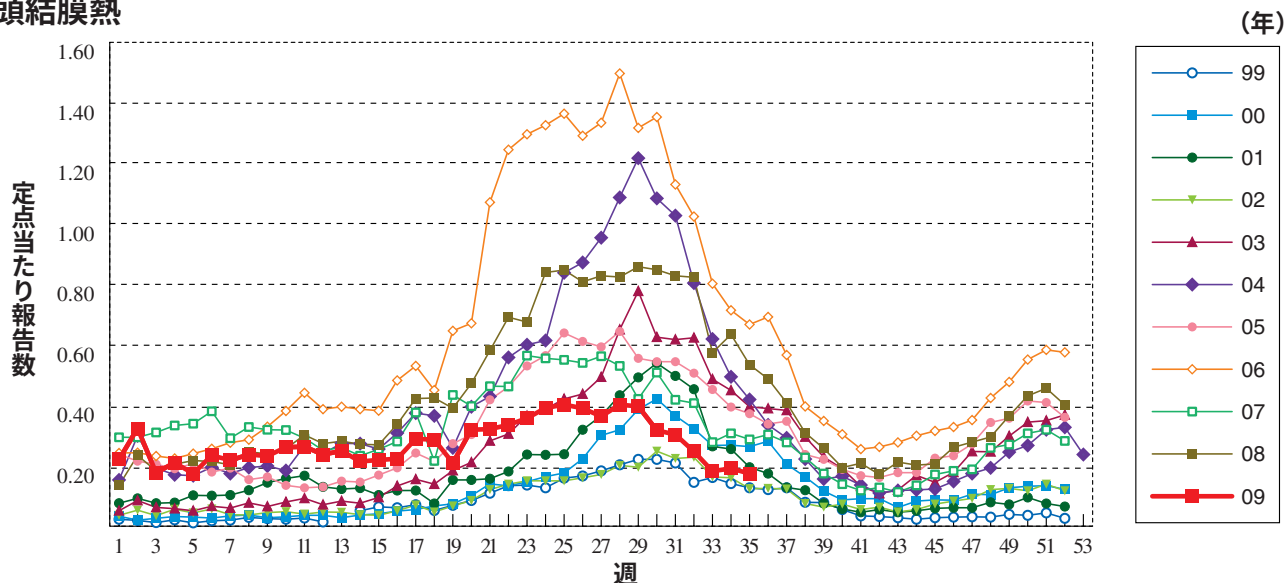


グラフ総覧(35週)

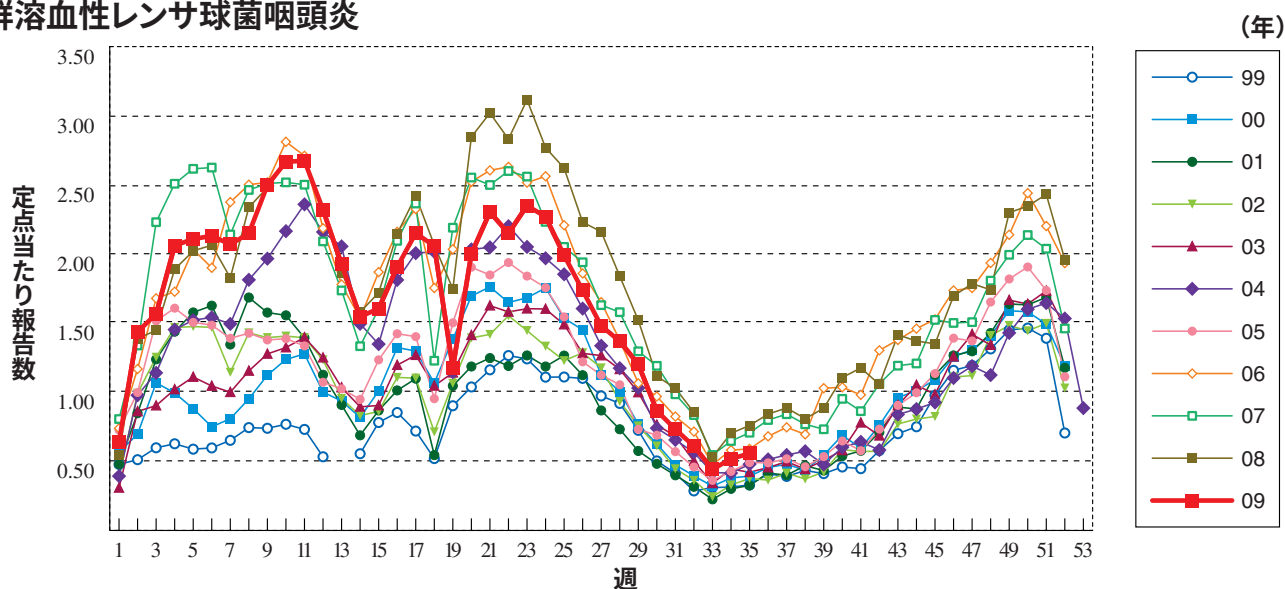
インフルエンザ



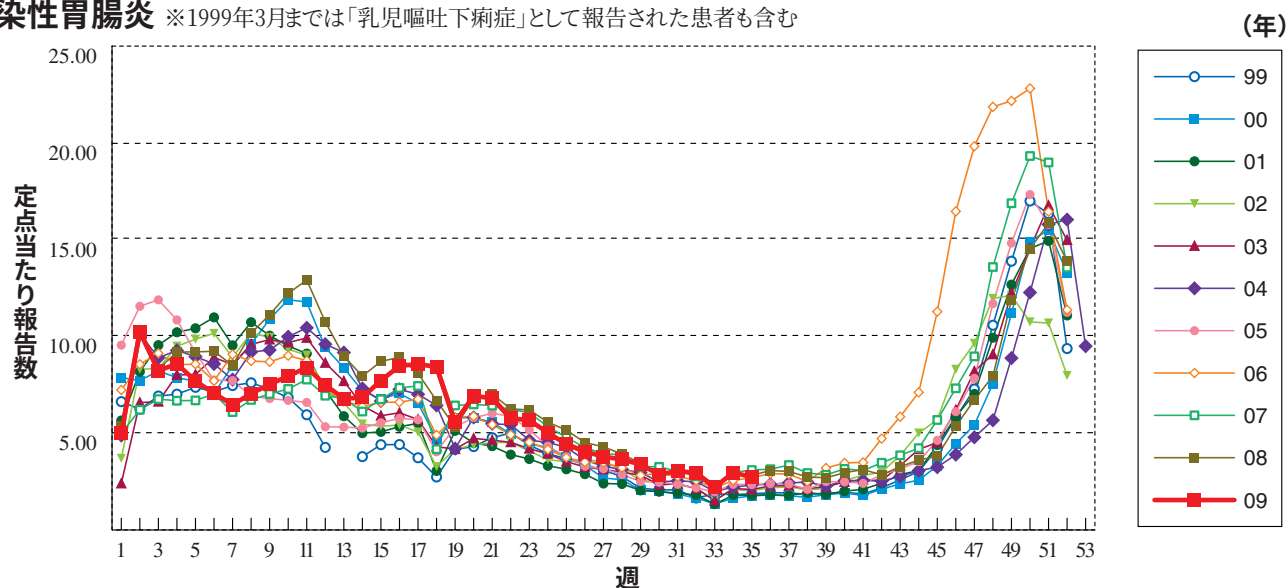
咽頭結膜熱



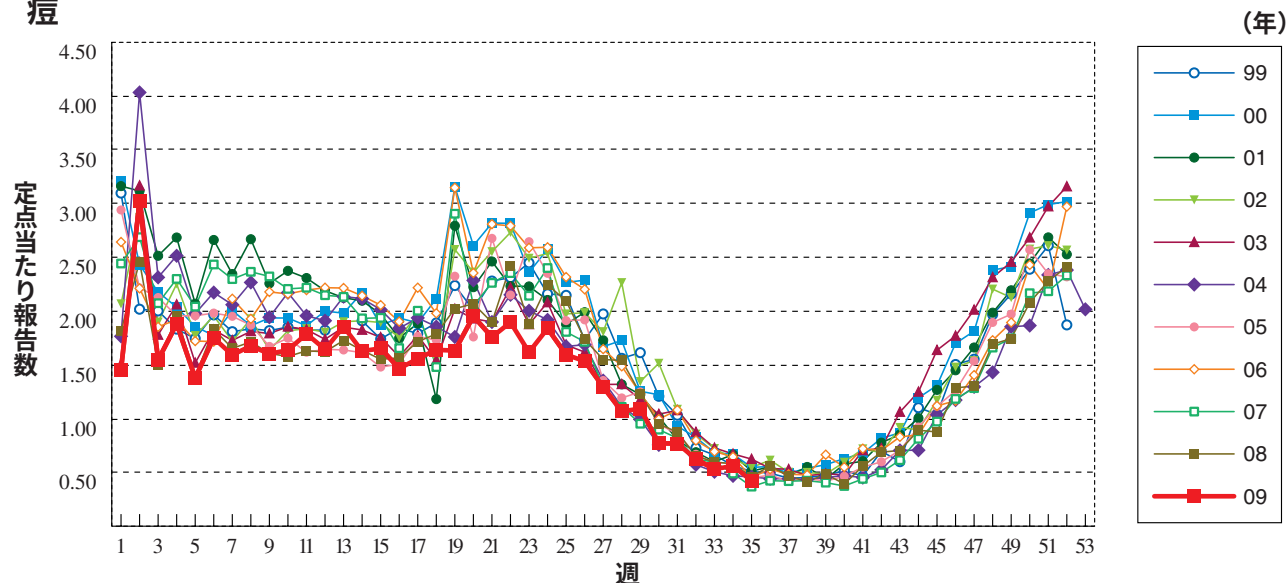
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



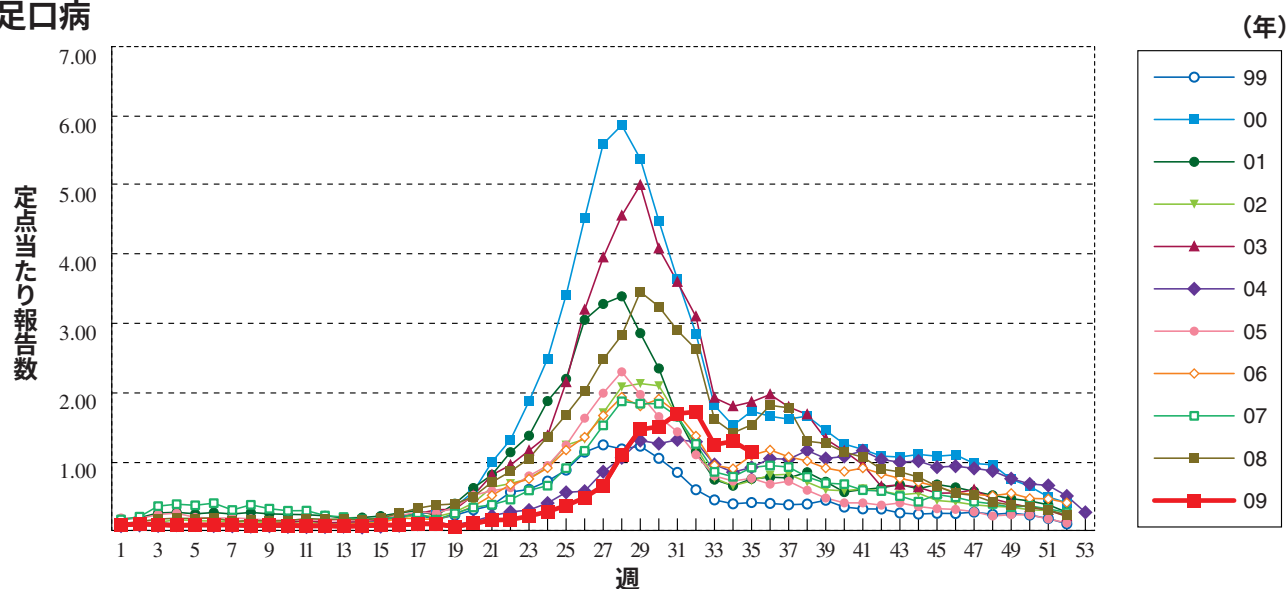
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



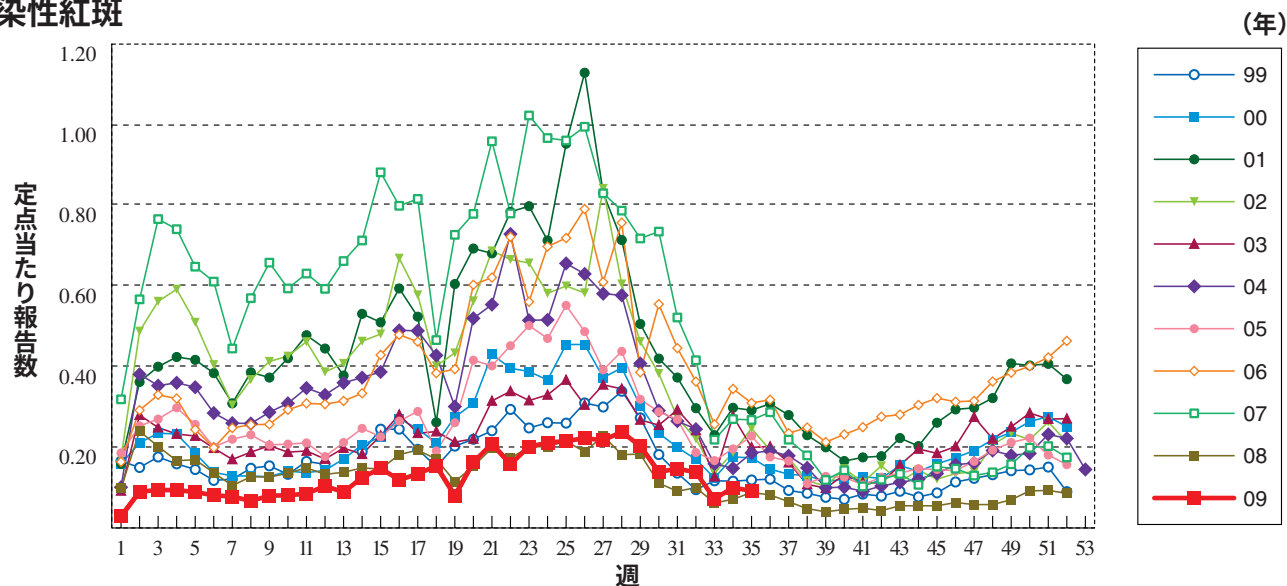
水痘



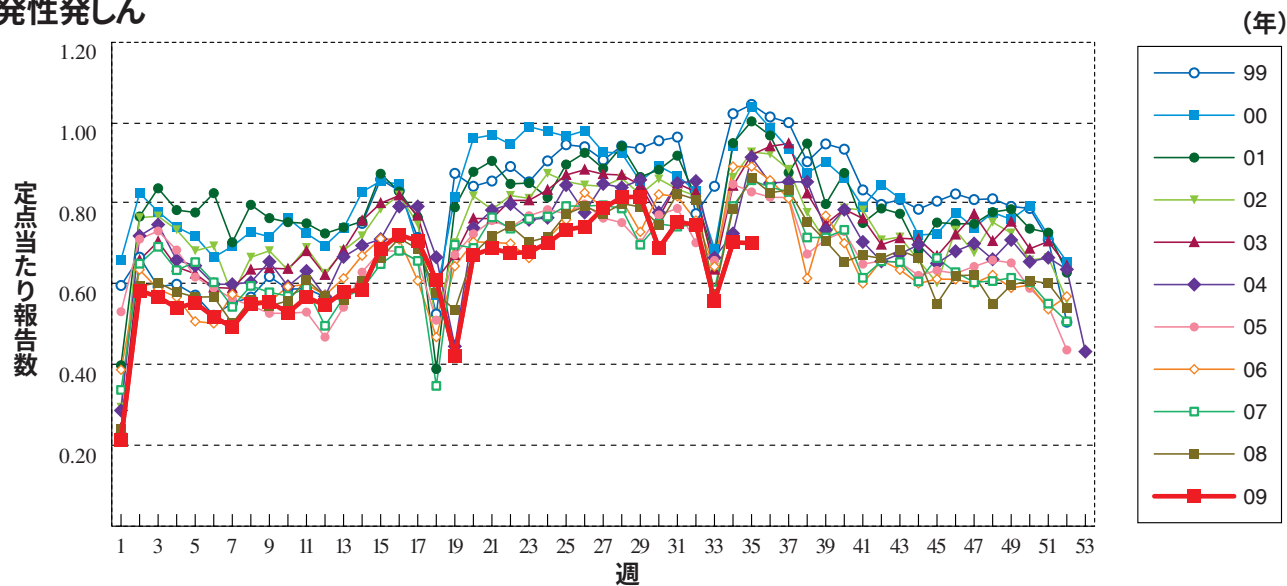
手足口病



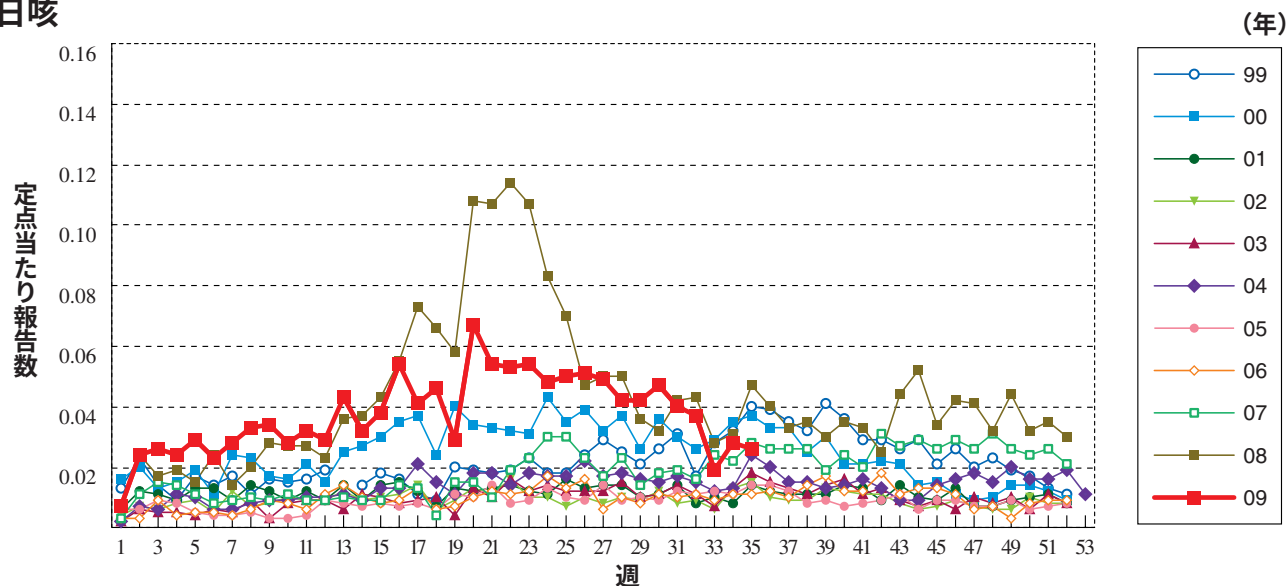
伝染性紅斑



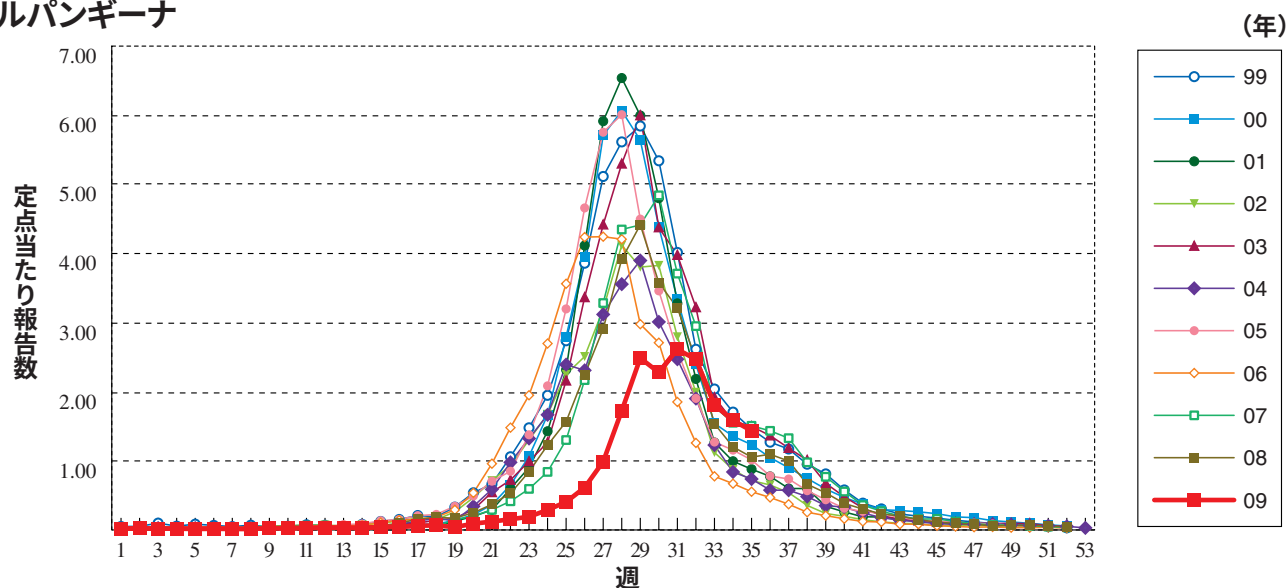
突発性発しん



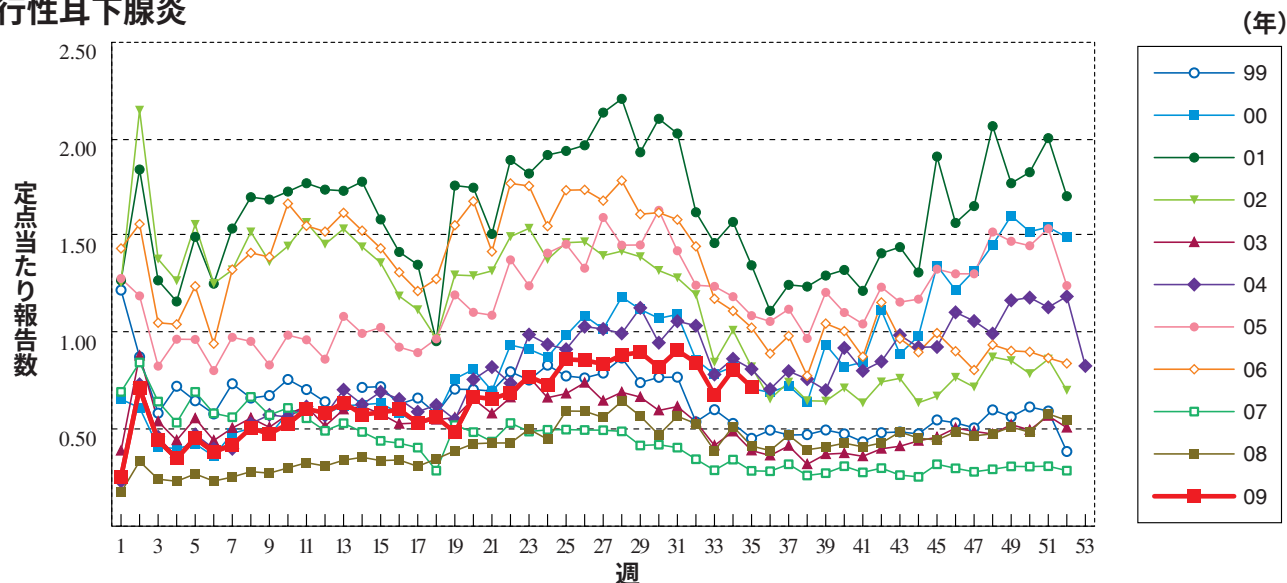
百日咳



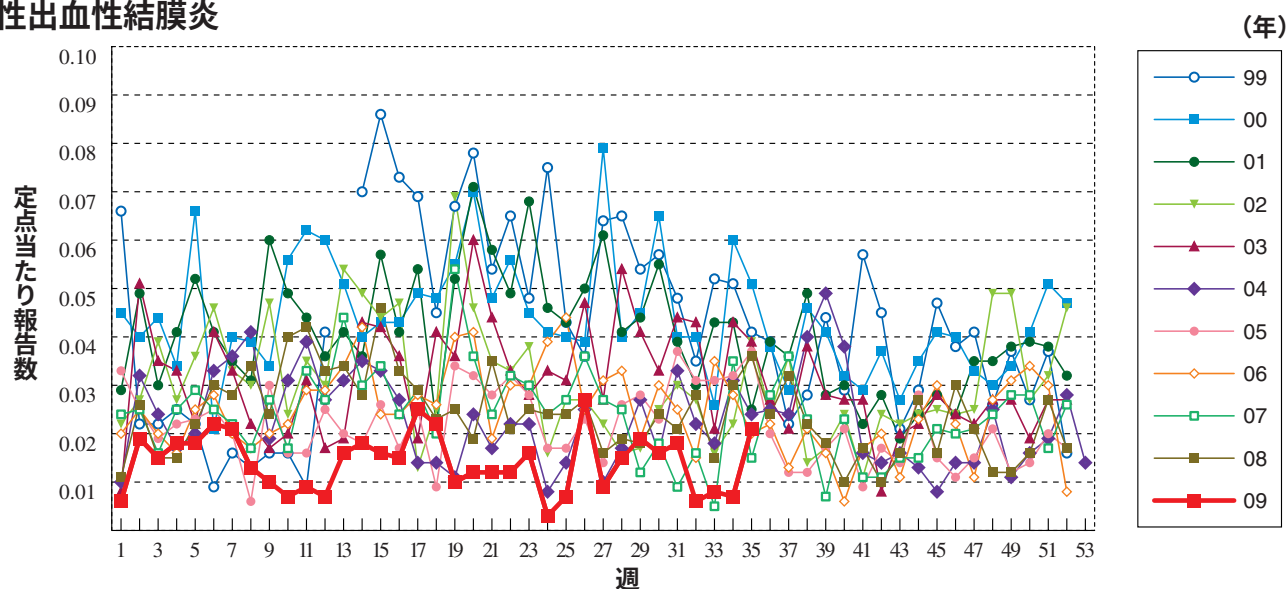
ヘルパンギーナ



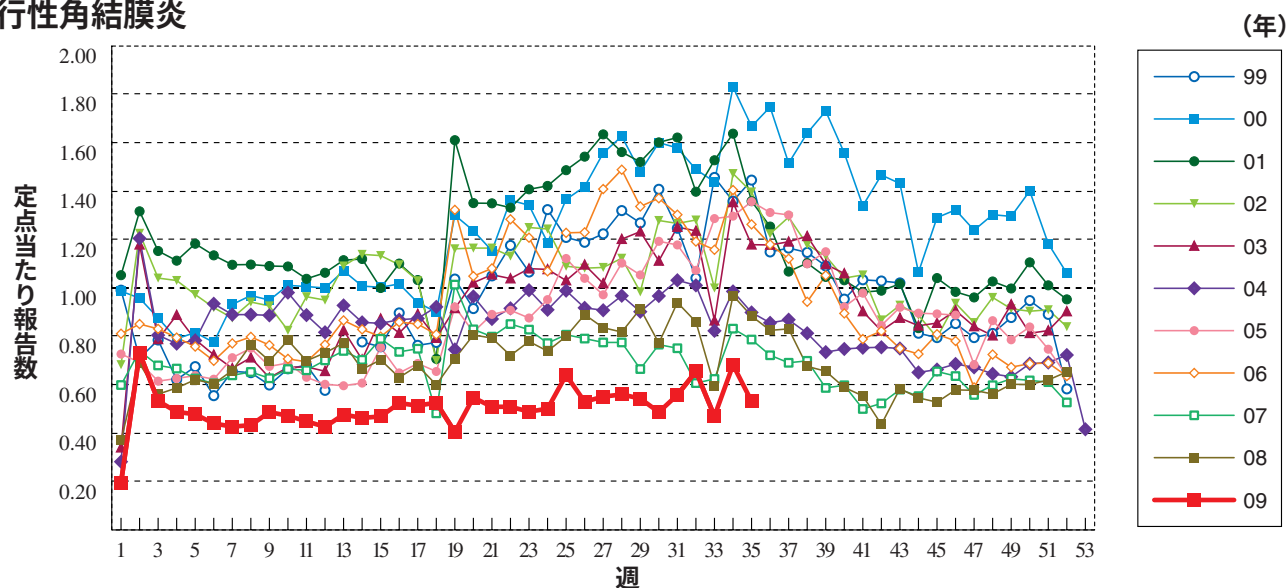
流行性耳下腺炎



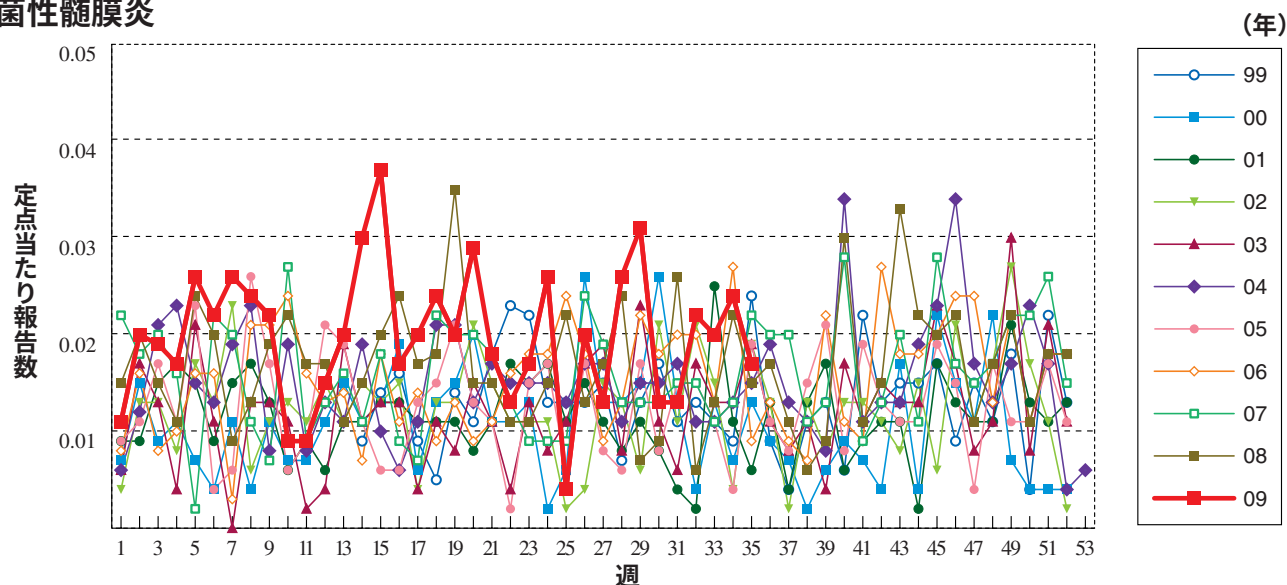
急性出血性結膜炎



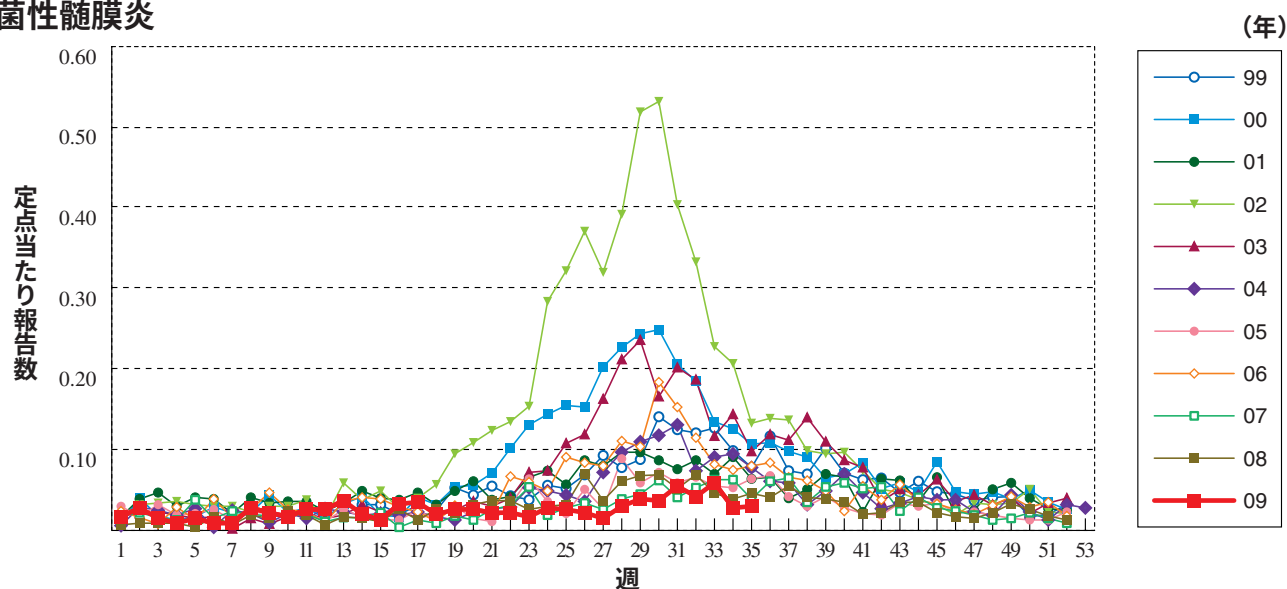
流行性角結膜炎



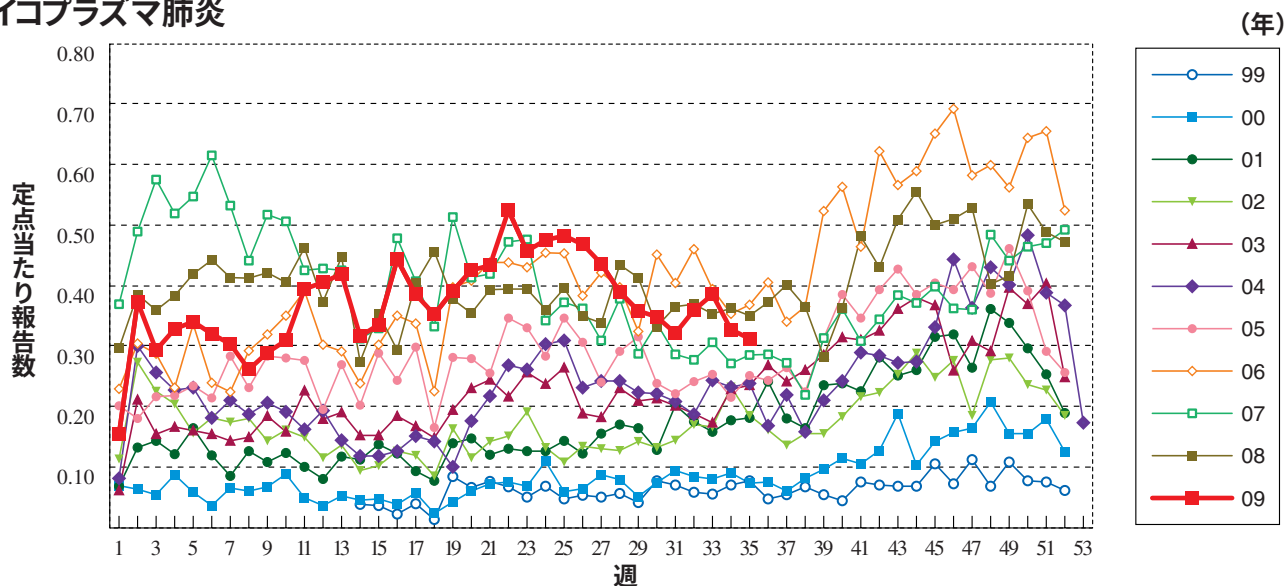
細菌性髄膜炎



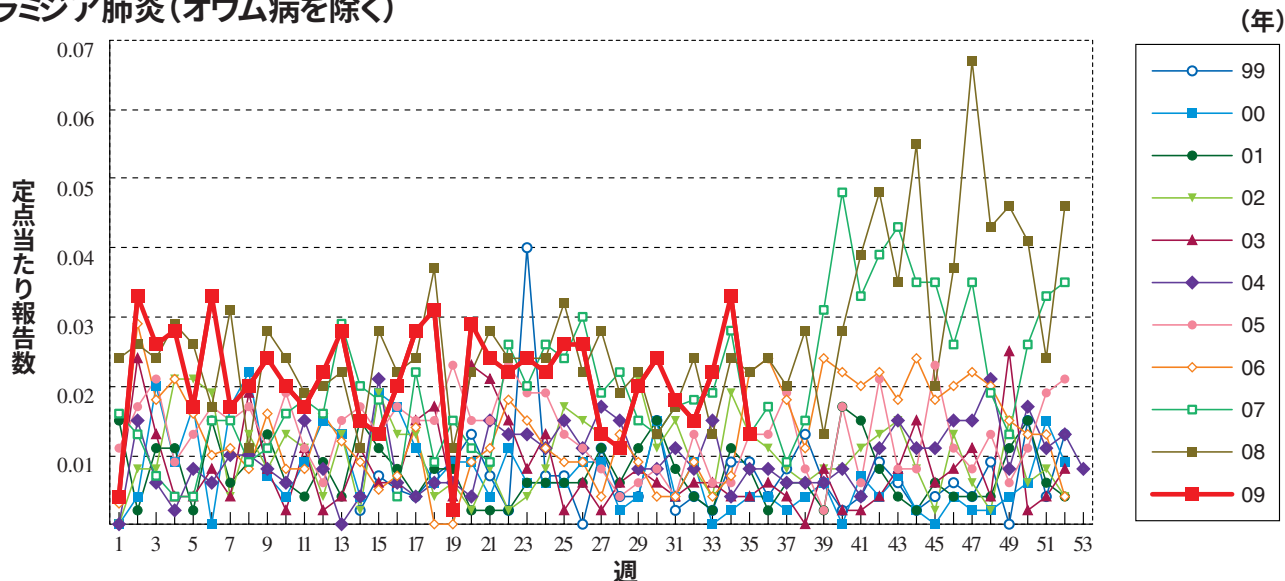
無菌性髄膜炎



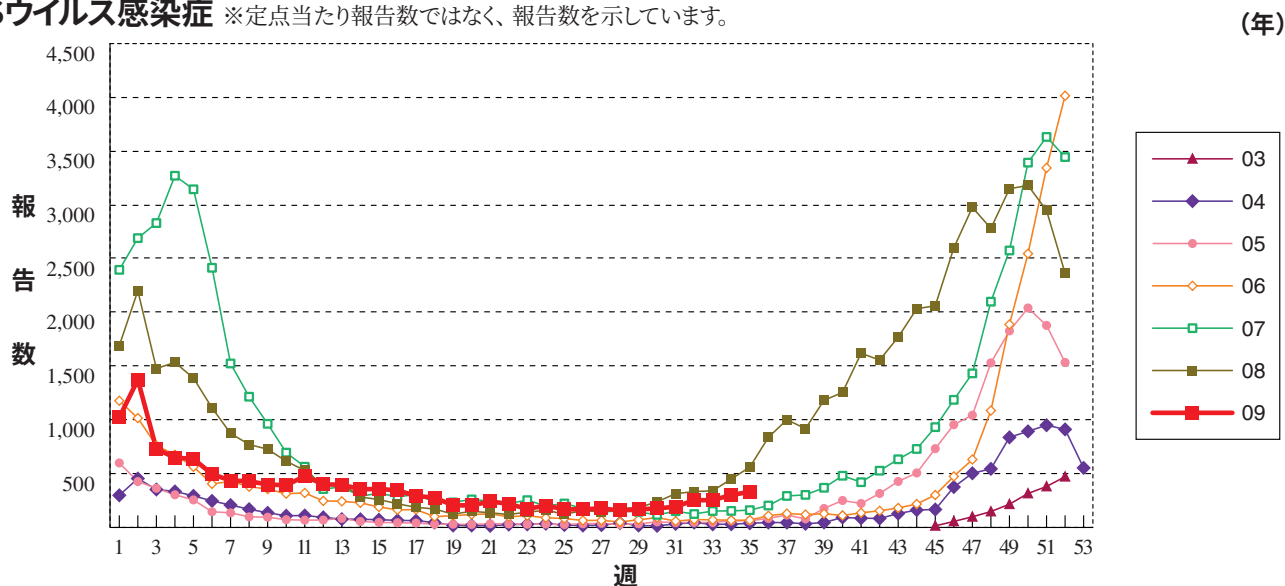
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





35週のデータ

注) 表中の報告数は9月2日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年35週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	243	17583
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	540
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	240
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	115
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	220
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	101
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	127
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	199
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	326
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	204
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	106
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	817
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	982
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	2686
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	1264
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	218
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	127
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	123
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	72
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	193
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	326
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	467
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	1366
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	256
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	189
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	444
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	978
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	599
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	205
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	194
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	103
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	247
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	390
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	198
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	137
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	164
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	191
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	114
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	752
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	130
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	238
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	253
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	191
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	177
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	254
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	7	1	115	168	2269	-	20	-	15	-	33
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	59	-	1	-	-	-	9
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10	45	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	47	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	58	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	19	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	22	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	6	43	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	72	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	4	102	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	-	30	20	193	-	10	-	7	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	16	13	114	-	-	-	2	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	25	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	34	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	19	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	21	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	38	-	1	-	1	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	13	122	-	2	-	3	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	18	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	15	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	45	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	11	103	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	102	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	19	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	66	-	2	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	66	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	32	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	11	154	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	38	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	19	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	32	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	84	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	45	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	39	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	2	87	-	15	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	11	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	狂 犬 病		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	107	4	47
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43	-	-	-	5	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	1	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年35週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	7	462	-	6	-	-	3	533	1	151	5	156	-	12	2	86
北海道	-	-	-	15	-	-	-	-	-	15	-	1	-	2	-	2	-	1
青森県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3	-	1	1	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	2	-	6	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	5	-	3	-	3	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	5	-	3	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	22	-	11	-	13	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	17	-	1	-	-	-	39	-	3	1	16	-	-	-	1
東京都	-	-	2	36	-	-	-	-	-	90	-	23	1	17	-	1	1	10
神奈川県	-	-	1	25	-	1	-	-	1	43	-	12	-	3	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	16	-	1	-	-	-	5	-	-	1	8	-	-	-	1
富山県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1
長野県	-	-	-	9	-	-	-	-	1	5	-	-	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	8	1	5	-	2	-	-	-	2
愛知県	-	-	1	29	-	-	-	-	-	38	-	9	-	4	-	-	-	5
三重県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	15	-	5	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	22	-	-	-	-	-	64	-	11	-	26	-	-	-	6
兵庫県	-	-	-	24	-	-	-	-	-	27	-	10	1	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	12	-	7	-	2	-	-	-	3
広島県	-	-	1	17	-	-	-	-	1	7	-	11	-	5	-	-	-	3
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	14	-	6	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	1	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	6	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	80	14	989	-	53	-	9	-	-	9	479	2	69	-	-	2	67
北海道	-	3	-	21	-	3	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	3
青森県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-
秋田県	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	18	-	2	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	13	-	1	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	2	-	11	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	21	-	-	-	-	-	-	-	12	1	2	-	-	-	5
千葉県	-	3	3	38	-	2	-	2	-	-	-	15	-	4	-	-	1	4
東京都	-	8	3	324	-	16	-	1	-	-	5	135	-	4	-	-	-	10
神奈川県	-	4	1	57	-	5	-	1	-	-	1	23	-	2	-	-	-	15
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	4	1	4	-	-	-	2
岐阜県	-	2	1	9	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	19	-	1	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	8	1	61	-	1	-	1	-	-	-	27	-	3	-	-	-	1
三重県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
京都府	-	1	-	17	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	4	2	165	-	7	-	-	-	-	1	51	-	4	-	-	-	4
兵庫県	-	7	2	31	-	2	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	3	-	11	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1
広島県	-	4	-	20	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	1	32	-	2	-	2	-	-	-	38	-	2	-	-	1	7
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-	-	15	-	2	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年35週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	126	11	594
北海道	-	4	1	14
青森県	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	7
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	2	-	7
茨城県	-	2	1	9
栃木県	-	2	-	10
群馬県	-	1	-	8
埼玉県	-	4	2	37
千葉県	-	9	1	88
東京都	1	11	-	87
神奈川県	-	12	-	84
新潟県	-	5	-	12
富山県	-	-	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	-	11
岐阜県	-	2	-	7
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	10	-	23
三重県	-	2	1	2
滋賀県	-	2	2	5
京都府	-	1	1	9
大阪府	-	11	2	51
兵庫県	-	6	-	6
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	-	-	2
島根県	-	1	-	-
岡山県	-	2	-	8
広島県	-	3	-	11
山口県	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	5
高知県	-	1	-	-
福岡県	-	21	-	21
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	2
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	4

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	12007	2.52	525	0.17	1679	0.56	8244	2.73	1274	0.42	3416	1.13	277	0.09	2117	0.70	77	0.03
北海道	492	2.17	64	0.45	178	1.24	169	1.18	57	0.40	161	1.13	13	0.09	78	0.55	1	0.01
青森県	39	0.60	4	0.10	28	0.67	70	1.67	15	0.36	166	3.95	3	0.07	27	0.64	-	-
岩手県	86	1.34	6	0.15	13	0.33	78	1.95	18	0.45	18	0.45	2	0.05	18	0.45	-	-
宮城県	136	1.42	9	0.15	28	0.47	197	3.28	25	0.42	42	0.70	8	0.13	60	1.00	-	-
秋田県	102	1.85	3	0.09	27	0.77	103	2.94	10	0.29	114	3.26	4	0.11	22	0.63	1	0.03
山形県	91	1.90	2	0.07	26	0.87	105	3.50	12	0.40	41	1.37	1	0.03	25	0.83	-	-
福島県	149	1.86	12	0.25	26	0.54	114	2.38	23	0.48	32	0.67	2	0.04	43	0.90	-	-
茨城県	245	2.04	14	0.19	41	0.55	130	1.73	8	0.11	79	1.05	5	0.07	36	0.48	1	0.01
栃木県	64	0.84	2	0.04	13	0.27	48	1.00	7	0.15	98	2.04	-	-	29	0.60	5	0.10
群馬県	110	1.10	9	0.15	40	0.65	189	3.05	16	0.26	18	0.29	2	0.03	47	0.76	-	-
埼玉県	636	2.60	30	0.19	96	0.61	483	3.08	69	0.44	203	1.29	19	0.12	110	0.70	4	0.03
千葉県	595	2.95	10	0.08	71	0.55	268	2.08	39	0.30	176	1.36	13	0.10	75	0.58	7	0.05
東京都	856	3.01	16	0.11	58	0.39	362	2.46	47	0.32	179	1.22	33	0.22	107	0.73	6	0.04
神奈川県	737	2.32	21	0.11	100	0.51	514	2.61	56	0.28	217	1.10	86	0.44	158	0.80	4	0.02
新潟県	165	1.70	19	0.31	52	0.85	71	1.16	19	0.31	57	0.93	1	0.02	48	0.79	2	0.03
富山県	90	1.91	9	0.32	25	0.89	101	3.61	13	0.46	22	0.79	-	-	15	0.54	-	-
石川県	55	1.15	11	0.38	6	0.21	97	3.34	22	0.76	27	0.93	-	-	12	0.41	-	-
福井県	68	2.13	3	0.14	23	1.05	128	5.82	13	0.59	27	1.23	-	-	17	0.77	2	0.09
山梨県	58	1.45	4	0.17	14	0.58	43	1.79	6	0.25	14	0.58	4	0.17	11	0.46	-	-
長野県	133	1.51	27	0.49	46	0.84	157	2.85	14	0.25	64	1.16	3	0.05	25	0.45	-	-
岐阜県	108	1.24	12	0.23	12	0.23	85	1.60	16	0.30	22	0.42	-	-	20	0.38	1	0.02
静岡県	182	1.44	22	0.26	31	0.36	251	2.95	15	0.18	53	0.62	1	0.01	73	0.86	3	0.04
愛知県	453	2.34	16	0.09	77	0.43	421	2.33	74	0.41	43	0.24	5	0.03	149	0.82	8	0.04
三重県	101	1.40	5	0.11	19	0.42	180	4.00	37	0.82	12	0.27	4	0.09	28	0.62	4	0.09
滋賀県	117	2.25	11	0.35	15	0.48	97	3.13	10	0.32	29	0.94	-	-	11	0.35	-	-
京都府	283	2.30	4	0.05	27	0.36	203	2.71	20	0.27	48	0.64	4	0.05	36	0.48	1	0.01
大阪府	866	3.08	12	0.06	114	0.61	621	3.30	123	0.65	91	0.48	19	0.10	130	0.69	2	0.01
兵庫県	409	2.07	21	0.16	33	0.26	356	2.78	52	0.41	86	0.67	11	0.09	77	0.60	1	0.01
奈良県	92	1.67	5	0.14	4	0.11	87	2.49	5	0.14	18	0.51	-	-	18	0.51	-	-
和歌山県	42	0.86	1	0.03	4	0.13	68	2.19	22	0.71	9	0.29	1	0.03	23	0.74	-	-
鳥取県	45	1.55	-	-	18	0.95	87	4.58	5	0.26	12	0.63	1	0.05	6	0.32	-	-
島根県	75	1.97	2	0.09	7	0.30	87	3.78	5	0.22	58	2.52	-	-	19	0.83	-	-
岡山県	102	1.21	6	0.11	29	0.54	206	3.81	21	0.39	17	0.31	2	0.04	29	0.54	-	-
広島県	140	1.22	14	0.19	41	0.57	222	3.08	18	0.25	54	0.75	2	0.03	51	0.71	2	0.03
山口県	84	1.18	5	0.10	63	1.26	182	3.64	14	0.28	45	0.90	1	0.02	35	0.70	-	-
徳島県	90	2.31	1	0.04	10	0.42	46	1.92	16	0.67	29	1.21	1	0.04	5	0.21	-	-
香川県	86	1.83	1	0.04	7	0.25	76	2.71	11	0.39	38	1.36	-	-	23	0.82	-	-
愛媛県	81	1.33	4	0.11	17	0.46	127	3.43	21	0.57	79	2.14	4	0.11	41	1.11	1	0.03
高知県	144	3.00	3	0.10	6	0.20	50	1.67	27	0.90	21	0.70	-	-	19	0.63	7	0.23
福岡県	610	3.08	58	0.48	58	0.48	447	3.73	97	0.81	271	2.26	3	0.03	129	1.08	7	0.06
佐賀県	76	1.95	7	0.30	7	0.30	26	1.13	10	0.43	84	3.65	6	0.26	31	1.35	-	-
長崎県	118	1.69	8	0.18	15	0.34	59	1.34	13	0.30	166	3.77	2	0.05	26	0.59	-	-
熊本県	188	2.35	5	0.10	31	0.65	175	3.65	21	0.44	101	2.10	3	0.06	31	0.65	1	0.02
大分県	216	3.72	2	0.06	34	0.94	237	6.58	18	0.50	45	1.25	1	0.03	41	1.14	-	-
宮崎県	130	2.20	8	0.22	29	0.81	225	6.25	53	1.47	119	3.31	7	0.19	55	1.53	2	0.06
鹿児島県	174	1.87	13	0.24	46	0.84	163	2.96	47	0.85	89	1.62	-	-	37	0.67	-	-
沖縄県	2088	36.00	4	0.12	14	0.41	33	0.97	14	0.41	22	0.65	-	-	11	0.32	4	0.12

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年35週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	4331	1.44	2170	0.72	14	0.02	357	0.53	8	0.02	14	0.03	144	0.31	6	0.01	331
北海道	158	1.10	102	0.71	1	0.03	15	0.52	-	-	-	-	2	0.09	-	-	46
青森県	32	0.76	14	0.33	-	-	4	0.36	-	-	-	-	6	1.00	-	-	5
岩手県	24	0.60	5	0.13	-	-	8	0.57	-	-	-	-	1	0.05	-	-	4
宮城県	33	0.55	13	0.22	1	0.08	3	0.25	-	-	-	-	10	0.83	-	-	7
秋田県	57	1.63	18	0.51	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.13	-	-	1
山形県	39	1.30	92	3.07	-	-	2	0.25	-	-	-	-	3	0.30	-	-	-
福島県	29	0.60	54	1.13	-	-	3	0.25	-	-	-	-	8	1.14	-	-	6
茨城県	48	0.64	35	0.47	-	-	15	0.88	-	-	-	-	2	0.15	-	-	4
栃木県	35	0.73	28	0.58	-	-	2	0.17	-	-	-	-	3	0.43	-	-	1
群馬県	61	0.98	31	0.50	-	-	28	2.00	1	0.13	-	-	5	0.63	-	-	-
埼玉県	155	0.99	147	0.94	4	0.09	10	0.23	-	-	-	-	3	0.33	-	-	4
千葉県	107	0.83	128	0.99	-	-	12	0.36	-	-	1	0.11	-	-	1	0.11	5
東京都	178	1.21	109	0.74	1	0.03	18	0.47	-	-	2	0.08	6	0.25	-	-	19
神奈川県	249	1.26	137	0.70	-	-	33	0.79	-	-	-	-	-	-	1	0.13	19
新潟県	155	2.54	23	0.38	1	0.11	4	0.44	-	-	-	-	2	0.17	3	0.25	6
富山県	106	3.79	18	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-	11	2.20	-	-	4
石川県	105	3.62	24	0.83	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	88	4.00	56	2.55	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	0.17	-	-	1
山梨県	18	0.75	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	185	3.36	9	0.16	-	-	6	0.55	-	-	-	-	8	0.73	-	-	-
岐阜県	44	0.83	28	0.53	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.20	-	-	5
静岡県	144	1.69	28	0.33	-	-	6	0.32	-	-	-	-	3	0.30	-	-	2
愛知県	255	1.41	103	0.57	-	-	7	0.21	-	-	-	-	6	0.40	1	0.07	10
三重県	76	1.69	12	0.27	-	-	3	0.25	-	-	1	0.11	-	-	-	-	13
滋賀県	44	1.42	11	0.35	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-
京都府	71	0.95	28	0.37	-	-	10	0.59	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	276	1.47	154	0.82	-	-	8	0.17	-	-	-	-	5	0.36	-	-	32
兵庫県	226	1.77	48	0.38	-	-	40	1.14	-	-	-	-	1	0.13	-	-	7
奈良県	39	1.11	42	1.20	-	-	3	0.33	-	-	3	0.50	-	-	-	-	1
和歌山県	110	3.55	40	1.29	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.36	-	-	-
鳥取県	38	2.00	5	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	12
島根県	34	1.48	5	0.22	-	-	1	0.33	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	44	0.81	15	0.28	-	-	11	0.92	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-
広島県	179	2.49	54	0.75	-	-	18	0.95	1	0.05	1	0.05	8	0.38	-	-	11
山口県	112	2.24	10	0.20	1	0.11	-	-	-	-	-	-	5	0.56	-	-	1
徳島県	41	1.71	14	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
香川県	114	4.07	2	0.07	2	0.67	2	0.67	-	-	1	0.20	-	-	-	-	4
愛媛県	84	2.27	21	0.57	-	-	6	0.75	-	-	-	-	4	0.67	-	-	-
高知県	31	1.03	8	0.27	-	-	2	0.67	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	-
福岡県	109	0.91	185	1.54	-	-	16	0.62	2	0.13	-	-	1	0.07	-	-	17
佐賀県	26	1.13	39	1.70	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33	-	-	2
長崎県	36	0.82	78	1.77	3	0.38	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	8
熊本県	95	1.98	55	1.15	-	-	7	0.78	1	0.07	2	0.13	2	0.13	-	-	25
大分県	85	2.36	32	0.89	-	-	6	1.20	-	-	-	-	1	0.09	-	-	1
宮崎県	90	2.50	53	1.47	-	-	14	2.33	-	-	-	-	2	0.29	-	-	5
鹿児島県	57	1.04	17	0.31	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.08	-	-	18
沖縄県	9	0.26	37	1.09	-	-	26	2.60	1	0.14	-	-	23	3.29	-	-	12

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年35週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年35週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第35号 2009年9月11日発行

発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。